

# 舞鶴公園みどりのツアーガイド養成検討業務委託

## 報 告 書

平成 26 年 3 月

公益財団法人福岡市緑のまちづくり協会

春（城と桜）コース

## 舞鶴公園みどりのガイドツアー

### 1

#### 春：城と桜

##### 1) 舞鶴公園について

- ① 舞鶴公園みどりガイドは、春夏秋冬の見どころを季節ごとに分け、案内します。この中で春については花の見どころも多く、季節的なズレもありますので、2通りのコースを用意しています。

第一回目は春の花の代名詞サクラのコースから始めたいと思います。

舞鶴公園の春の代表的な行事のひとつとなった福岡城さくら祭りは例年、3月25日前後から始まり、10日間ほど開催されます。今年は、3月27日から4月6日で夜間ライトアップも予定されています。平成21年から始まり、去年は期間内に25万人の人出があったそうです。ちなみに各地の城跡内で同様のサクラ祭りが開催されていますが、最も人出が多い所は青森県の弘前城跡で、年間200万人を超えるそうです。この弘前城跡の中には、日本最古のソメイヨシノで樹齢120年以上のものがあり、今も美しい花をつけています。

- ② 舞鶴公園内のさくらの紹介に先立ち、舞鶴公園の歴史と将来計画について少し触れておきたいと思います。福岡城跡がどのような経緯で舞鶴公園となったのか、確たる文献等は見つかりませんが、城跡の時代から博多湾より見た時、鶴の舞う姿に似ていたことから、別名舞鶴城とも呼ばれていたようです。

明治から終戦までは陸軍の駐屯地でしたが、昭和 22 年市民運動場として市民に開放され、昭和 23 年には総合公園として都市計画決定されました。この時舞鶴公園となっております。(面積約 40ha) さらに同年には、第三回国民体育大会秋季大会の主会場として、テニスやバレーボールのコート、陸上競技場等のスポーツ施設(現在は球技場)が造られました。平和台野球場も 2 年遅れで造られました。その後、昭和 35 年に都市公園法による設置が認められています。

一方福岡城跡としては、国史跡指定が昭和 27 年に仮指定され、昭和 32 年 8 月 29 日に指定告示がありました。対象面積は約 48ha です。この他、南丸多聞櫓は昭和 46 年 12 月 28 日に国指定重要文化財に、また昭和 60 年代からは鴻臚館跡も本格的に調査が始められ、平成 16 年 9 月 30 日付けで国指定史跡になっています。

このように都市公園法や文化財保護法等で保存された中で、各種の民間建物も逐次場外に移設され、跡地の公園整備が昭和 50 年代から進められ、平成 15 年前後からサクラの名所づくりも推進され、現在の姿になっています。

平成 3 年には、舞鶴公園将来構想がまとめられ、公園内の公共建物施設(平和台球場、病院等)の逐次移転が決まり、みどりと歴史・文化の拠点とする方向性が示されました。平成 25 年度には、大濠公園(県営公園)とも一体的な整備活用に向けたセントラルパーク構想も動き始めています。

- ④ 福岡城跡のことについても少し触れておきます。福岡城跡は今年の大河ドラマにも取り上げられている黒田官兵衛の長男黒田長政によって、慶長 6 年(1601)から慶長 12 年(1607)まで 7 年の月日をかけ造られています。官兵衛は御鷹屋敷、

現在の牡丹・芍薬園に居住していたようですが、1604年に没しているため城の竣工は見えていません。福岡藩は、九州内では薩摩・肥後藩に次ぐ52万石でしたが、福岡城跡は石垣の雄大さ、櫓の多さに特色がありました。

城内への出入り口は、北側の濠に面した上ノ橋大手門と下ノ橋大手門、南側の護国神社に面した追廻門の三カ所です。この他、三ノ丸から二ノ丸に向かう途中や（東御門、松ノ木門、桐木門）二ノ丸から本丸への入口に（本丸表御門、裏御門）天守台への入口に鉄御門等10ヶ所以上ありました。櫓は特に多く、重要文化財の南丸多聞櫓をはじめ、47以上あったようです。

雄大な石垣の総延長は約3.4kmで、最も高い石垣は15m程です。また、隣接する大濠公園を含めた堀面積も25万坪、（現在は4ha）等が、規模や形状のあらましです。

## 2

### 2) 舞鶴公園内のサクラについて

#### ①舞鶴公園内のサクラの歴史

- ・ 古代からある在来種は、ヤマザクラ群、エドヒガン群、マメザクラ群、チョウジザクラ群、カンヒザクラ群、サトザクラグループ（雑種からなる群）の6群に分けられます。
- ・ ソメイヨシノは日本原産種のエドヒガン系の桜とオオシマザクラの交配によって生まれたと考えられ、日本産の園芸品種です。
- ・ 日本最古のソメイヨシノは、青森県弘前市の弘前城公園にあり、推定樹齢120年です。
- ・ 舞鶴公園内で最も古いサクラは、大きさ（幹周り）から推定すると、裁判所南側のソメイヨシノと思われます。
- ・ その後、主に西側広場に順次植えられ、平成9年には「さくら

の名所」づくり計画が策定されました。

3

### ㊦東御門

両側に続く石垣は花崗岩と玄武岩が混ざっていますが、工具を用いて石材を打ち欠いています。比較的形状や大きさが揃ったもので積まれており、乱層積みです。

これに対し武具櫓等の南側の石垣は、加工が少ない石で積まれており、野面積みまたは布積みとされています。この違いは、北側は城の顔であったことから、見栄えよくするためと推察されています。

4

### ㊧扇坂門

当時は扇状に開口し、階段も同心円状に造られていたと思われる。南側の櫓は祈念櫓といい、昭和 32 年に県の有形文化財に指定され、昭和 57 年には大正寺（北九州市）に移築していたものの再移築が行われました。

5

### ㊨本丸表御門

石垣、石段、石舗装、排水溝等は当時のもので、門は崇福寺山門として大正 7 年に払い下げられている二層の櫓門です。

6

## ②花見の歴史

・花見は奈良時代の貴族の行事が起源だと言われています。

奈良時代には中国から伝来したばかりの梅が観賞されていましたが、平安時代に桜に代わってきました。それは歌にも表れており、『万葉集』には桜を詠んだ歌が 40 首、梅を詠んだ歌が 100

首程度みられましたが、10世紀初期の『古今和歌集』ではその数が逆転しています。「花」が桜の別称として使われるようになったのもこの頃からです。

- ・『日本書紀』を第一とする六国史の第三にあたる『日本後紀』には、嵯峨天皇が812年（弘仁3年）に神泉苑にて「花宴の節（せち）」を催したとあります。時期的に桜が主役と思われ、これが記録に残る花見の初出と考えられています。
- ・831年（天長8年）からは、宮中で天皇主催の定例行事として取り入れられました。その様子は、『源氏物語』の中の「花宴（はなのえん）」にも描かれています。
- ・吉田兼好の『徒然草』にも花見に関する記述があり、『徒然草』が書かれた鎌倉末期から室町初期の頃にはすでに地方でも花見の宴が催されていたことが窺えます。
- ・織豊時代にも花見をしていたことが絵画資料等から確認できますが、この時期の最も大規模なものは1598年（慶長3年）3月15日に行われた豊臣秀吉の醍醐の花見です。
- ・花見の風習が広く庶民に広まったのは江戸時代といわれています。江戸で最も名高かったのは、天海大僧正によって植えられた寛永寺の桜、忍岡（しのぶがおか）です。

### ③福岡城さくらまつり

- ・桜を楽しむイベントとして平成21年より、「福岡城さくらまつり」が開催され、20～25万人の人出で賑わっています。
- ・期間中には、国指定重要文化財である多聞櫓のライトアップや、天守台のライトアップが行われます。
- ・関連イベントとして、鴻臚館跡芝生広場ではダンスや音楽のライブステージ、また、さくらグルメ屋台と題して、バラエティ豊かな屋台とキッチンカーが集合します。

- ・同時開催として、おおほりまつりがあります。西公園（光雲神社）を出発し、名島門を經由して鴻臚館跡芝生広場に到着する、黒田二十四騎武者、少年武者、稚児行列のほか、舞台上で様々な演奏や演舞が行われます。

#### ④舞鶴公園のサクラの本数と種類

- ・園内のサクラの総数は約 1050 本です。
- ・樹木の直径は 50cm 以上のもの（昭和 30 年～40 年に植えられたもの）が 30%で、そのほとんどがソメイヨシノです。
- ・舞鶴公園内にあるサクラは 4 群で種類としては 20 種です。（表 1-1、表 1-2 参照）

西側広場、牡丹芍薬園にはアマノガワやナデンなどの珍しい品種が、本丸にはソメイヨシノ、二の丸にはヤエベニシダレザクラが植栽されています。

#### ○ヤエベニシダレザクラ

京都にはしだれ桜が多く、円山公園の祇園しだれ桜は特に有名です。牡丹・芍薬園には、祇園しだれ桜を育てた造園家第十六代佐野藤右衛門氏によって育てられたしだれ桜が植えられています。

表1-1 公園内の桜の種類		
群	種	場 所
ヤマザクラ	ヤマザクラ	牡丹芍薬園・西側広場入口(藤棚横)
	オオシマザクラ	西側広場
エドヒガン	ソメイヨシノ	公園内各所
	シダレザクラ	二の丸
	ヤエベニシダレ	二の丸・牡丹芍薬園
	ジュウガツザクラ	西側広場
ヒカンサクラ	ヨウコウ	西側広場
サトザクラ	アマノガワ	西側広場
	アマヤドリ	牡丹芍薬園
	イチヨウ	藤園
	イトクリ	藤園
	ウコン	西側広場
	ウスズミ	牡丹芍薬園
	カンザン	西側広場・お濠端
	シロタエ	西側広場
	スルガダイニオイ	西側広場
	フゲンゾウ	西側広場・牡丹芍薬園
	ベニユタカ	西側広場
ハナガサ	西側広場	
ナデン	牡丹芍薬園	

出典：福岡城さくらまつりホームページ内福岡城の桜  
福岡城さくらまつり実行委員会事務局  
(福岡市住宅都市局みどり推進課)

※次ページ(表1-2)も同資料を使用

表1-2 桜の種類(写真)

ヤマザクラ



日本に広く分布する野生のさくらです。白い花と同時に赤褐色の若芽が伸びます。  
|ヤエベニシダレ



花の色が濃く、八重咲きのベニヤエシダレもあります。二の丸、牡丹芍薬園にあります。  
|アマヤドリ



シロタエによく似ているが、花柄、小花柄(花の付け根の細い枝)が長いので、花が下を向いています。  
|ウスズミザクラ



花は白色です。若芽は緑色で、花と同時に少し伸びます。



2本のめしべが葉化して長く突き出し、それが象の牙に似ているためこの名がついたとされています。

|オオシマザクラ



春に白色の花を多数つける、野生種のサクラの一種。桜餅は、この葉を塩漬けにした物を使う。  
|ジュウガツザクラ



花が4月上旬頃と10月頃の年2回開花する。春は開花期に新芽も見られる。春のほうが花は大きい。  
|イチゴウ



通常、一本のめしべが葉化する事でこの名がついたとされています。葉化しないこともあります。  
|カンザン



セキヤマとも呼ばれる。花や蕾の色は濃い桜色であり、八重咲きである。塩漬けの原料とされます。



花が紅紫色で、花びらの外側は色が濃くなっています。花びらの脈の色が濃く、目立ちます。

ソメイヨシノ



江戸後期に江戸染井村から「吉野桜」の名で広まり、明治期に「染井吉野」とされました。  
|ヨウコウ



大型で鮮やかなピンクの花がソメイヨシノよりも一足早くに咲くので、目立ちます。  
|イトクリ



太い枝先に多くの花がまとまって咲き、花が糸で括ったように束になっています。  
|シロタエ



白色で大輪の八重は少ないので、シロタエという栽培品種名がついたと言われています。



葉化しためしべが花の外につきでる様子が花笠に似ているのでハナガサという名がついています。

シダレザクラ



舞鶴公園二の丸のしだれ桜並木は平成2年から3年に植えられています。  
|アマノガワ



枝張りがせまく、枝はまっすぐ上にのび、花も上向きに咲きます。花には芳香があります。  
|ウコン



花は淡黄緑色でウコンの根を使って染めた鬱金色に似ています。散る前の花は紅色に変わります。  
|スルガダイニオイ



かつて江戸駿河台の一庭園にあったことで、この名があるといわれています。



松前桜のひとつです。ほかの八重咲きよりも、早い時期に咲きます。

※@ヤエベニシダレと@ジュウガツザクラはウィキペディア掲載写真を使用、それ以外は福岡市住宅都市局みどり推進課の写真を使用。

## ⑤舞鶴公園の開花順（見ごろ）

- 各地域でのサクラの開花予想日は、毎年2月から4月にかけて各民間気象会社から発表され、同じ日に開花予想された地域を結んだ線はサクラ前線と呼ばれます。この前線はソメイヨシノを基準にしています。
- 気象庁では、サクラの開花日を、標本木で5～6輪以上の花が開いた状態となった最初の日を指し、満開日とは、標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日を指すとしています。
- 福岡市の開花標本木は、福岡管区気象台にあるソメイヨシノです。
- 福岡の平均的なサクラの開花日は3月23日頃（1981～2010年の平均）です。
- 舞鶴公園内のサクラの開花順は、表1-3の順で咲いていきます。ピークはソメイヨシノが満開になる頃で、陸上競技場周辺や本丸跡が花見客で賑わいます。

表1-3 種類と開花順			
	種	開花時期	場 所
①	ヨウコウ	3月中旬～下旬	西側広場
②	オオシマザクラ	3月中旬～下旬	西側広場
③	シダレザクラ	3月中旬～下旬	二の丸
④	ヤエベニシダレ	3月中旬～下旬	二の丸・牡丹芍薬園
⑤	ヤマザクラ	3月中旬～下旬	牡丹芍薬園・西側広場入口(藤棚横)
⑥	ウスズミ	3月下旬～4月上旬	牡丹芍薬園
⑦	ナデン	3月下旬～4月上旬	牡丹芍薬園
⑧	ソメイヨシノ	3月下旬～4月上旬	公園内各所
⑨	シロタエ	3月下旬～4月上旬	西側広場
⑩	ジュウガツザクラ	4月上旬・10月	西側広場
⑪	カンザン	4月上旬～中旬	西側広場・お濠端
⑫	スルガダイニオイ	4月上旬～下旬	西側広場
⑬	イチヨウ	4月上旬～下旬	藤園
⑭	フゲンソウ	4月上旬～下旬	西側広場・牡丹芍薬園
⑮	イトクリ	4月上旬～下旬	藤園
⑯	アマノガワ	4月上旬～下旬	西側広場
⑰	ウコン	4月上旬～下旬	西側広場
⑱	ベニユタカ	4月上旬～下旬	西側広場
⑲	ハナガサ	4月上旬～下旬	西側広場
⑳	アマヤドリ	4月上旬～下旬	牡丹芍薬園

出典：福岡城さくらまつりホームページ内福岡城の桜  
開花カレンダー

福岡城さくらまつり実行委員会事務局  
(福岡市住宅都市局みどり推進課)

## 7

### ①天守台

福岡城跡は各時代で種々の絵図が造られています。(数十枚確認されており、最も当時の姿をよく示すものとしては、福博物絵図です。江戸時代初期のものですが、いずれからも天守閣は確認されていません。ただし礎石は残っています。こ

の礎石は大休山（南公園）から赤坂山にかけて作られていた古墳（古墳時代）に用いられた石を転用しています。

## ⑥そのほかサクラの楽しみ方

### ・食用に

#### 『桜餅』

東京・向島の「長命寺桜もち」が発祥と言われますが、それ以前から京都には桜もちが存在したという説もあるようです。

#### 『桜の飲み物』

花の塩漬けを使用した「桜湯」、「桜茶」はお祝の席に出されます。最近は桜の葉を使用した煎茶や紅茶もあります。

### ・美容に

#### 『美容商品』

サクラの葉から抽出した桜葉エキスには、保湿効果があるそうです。

### ・薬用に

#### 『桜皮』

ソメイヨシノなどの樹皮を乾燥して作った生薬の一つです。漢方薬などに使用され、解毒作用があるので、湿疹や打ち身の炎症抑制、せきなどにも良いとされています。民療法として江戸時代頃に利用されていたという説もあります。

## 8

### ㊦鉄砲櫓

通路の部分には、古い瓦を小端立てにした舗装部分が残っ

ています。先年、復元整備された下ノ橋大手門の通路にこの技法が再現されています。

#### ①武具櫓

現在発掘調査が進められています。国史跡を復元整備する際の条件として、調査で当時の遺構（基礎部）がはっきり確認できる・絵図や文献で上部の姿が確認できる・さらに古写真等の資料が揃う等を満たすことが必要になります。

### 9

#### ⑧下側

当時城内にあった緑としてはどのようなものがあったのか、文献等では築地上に一部ハギ垣があったことが確認されています。この他、一般的には樹木所が（用材林）城内に多くみられますが、福岡城の場合はわかりません。裁判所南西側の5～10本のイヌマキ、多聞櫓南側土塁上のクスノキの巨木数本は、江戸時代後期からあったものと思われます。なお、この南側に築かれている土塁も15m程度の高いものが2km程度続いています。これも雄大な規模を誇っております。

### 10

#### ①鴻臚館跡

平安時代に造られた迎賓館で、国内3ヶ所のうちの一つです。現在、その場所が特定されているのは、福岡の鴻臚館のみです。隣接する赤坂小学校から入る南大門が確認されていますから、城とは入口と裏口が逆であったと思われます。

#### ④' 舞鶴公園のサクラの本数と種類

牡丹芍薬園には現在(平成 26 年 3 月末) 7 種のサクラがあります。中でも次の 3 種は珍しいものです。

##### ○ウスズミザクラ

岐阜県尾根村にある天然記念物「淡墨桜」の子供にあたります。親木は樹齢 1500 年と言われ、高さ 16.3m、幹周り 9.91m もあり、「日本三大桜」の一つです。

##### ○ナデン（マツマエザクラ）

松前桜とは桜の名所として名高い北海道松前町の松前公園一帯に植えられている桜の総称です。牡丹芍薬園の松前桜は、松前町出身第 58 代横綱千代の富士関のお世話により集められたものです。ナデンの他カンザン、フゲンゾウも松前桜です。

##### ○アマヤドリ

大輪・八重の白、または淡紅色の花を長い花柄から垂れ下がるように咲かせるオオシマザクラ系のサトザクラです。

#### 3) 福岡市内のサクラの名所

- ・福岡市内のサクラの名所として西公園が挙げられますが、この公園は「日本さくら名所 100 選」にも選ばれています。西公園は 1885 年（明治 18 年）に公園となり、サクラやカエデの植栽が始まりました。また、公園内の光雲神社には黒田官兵衛と、その子で初代福岡藩主・黒田長政（興雲 院殿）が祀られています。社名は両神の法名から一字ずつとったものです。境内には、福岡藩士で黒田二十四騎の一人・母里友信（太兵衛）の銅像があり、銅像下部には母里をモデルとした民謡

「黒田節」の歌詞が刻まれています。また、黒田長政が愛用した水牛の兜の像もあります。

- ・その他市内の桜の名所は次下（表 1-4 参照）のようなところがあります。

表1-4 福岡市内の桜の名所

	桜の本数	桜の種類	開花時期	特 徴
西公園 (福岡市中央区西公園)	約1,300本	ソメイヨシノ ヤマザクラ ヨウコウ	3月下旬 ~4月上旬	博多湾を望み、古くから県民の憩いの場として親しまれてきました。夜間は桜の開花に合わせて「ぼんぼり」が点灯し、風情ある夜桜が楽しめます。
油山市民の森 (福岡市南区大字松原)	約2,000本	ソメイヨシノ ヤマザクラ ヤエザクラ	3月下旬 ~4月中旬	油山の中腹に位置する油山市民の森。油山の自然を活かしたコースを散策しながら、のんびりと桜を楽しめます。桜の満開時の楠の広場からの眺めがきれいです。
愛宕神社 (福岡市西区愛宕)	約2,000本	ソメイヨシノ カンヒザクラ ケイオウザクラ エドヒガン ヤエザクラ ヤマザクラ	3月下旬 ~4月中旬	日本三大愛宕神社の一つです。標高68mの愛宕山の頂上に位置します。御神殿から楼門の眺めがきれいです。「愛宕桜まつり」が開催され、夜桜見物もできます。
南公園 (福岡市中央区南公園)	約1,400本	ソメイヨシノ オオシマザクラ ヤエザクラ カンヒザクラ	3月下旬 ~4月上旬	緑豊かな丘陵地にあり、福岡市動植物園を併設しています。公園内の花見広場では約400本を、動植物園内では約60種400本の桜が見られます。
紅葉山公園 (福岡市早良区高取)	約70本	ソメイヨシノ	3月下旬 ~4月上旬	名前の通り紅葉で有名な公園ですが、お花見の穴場となっています。ほとんどがソメイヨシノの老木ばかりで見ごたえ十分です。夜間は街灯でライトアップされ、夜桜も鑑賞できます。
のこのしま アイランドパーク (福岡市西区能古島)	約300本	ソメイヨシノ オオシマザクラ ヤマザクラ	3月下旬 ~4月上旬	年間を通して楽しめる行楽地です。4月上旬になると葉の花やツツジも咲き始め、花のある風景を存分に楽しめます。夜間はライトアップされ、夜桜も鑑賞できます。
海の中道海浜公園 (福岡市東区大字西戸崎)	約2,000本	ソメイヨシノ オオシマザクラ	4月上旬	国営公園。サイクリングコースには外周コースに多くの桜があり、桜のトンネルの下でのサイクリングを楽しむことができます。水辺の広場近くには水仙やチューリップも咲きます。

出典：とくたび福岡サイト内エンターテインメント情報  
>お花見特集>福岡市内にあるお花見スポット

#### 4) サクラを守る

- ・サクラは陽樹であり、太陽光が十分に当たらないと、花の数が少なくなる。
  - ・植える間隔が狭いと枝が交差し、枯れる原因になる。(樹種によるが8~10m程度の間隔が必要)
  - ・大気汚染や潮害に弱い品種が多いため、交通量の多い道路や海近くには植えない方がよい。
  - ・強い剪定を嫌うのでなるべく自然な形に育てるのがよい。
  - ・サクラを守るには
    1. 病気や害虫がついていないか、早期発見し処置する。
    2. 施肥は年に1回(寒いときに)行う。
    3. 剪定は落葉期(葉が落ちているとき)に行い、整枝する。
    4. てんぐ巣病は発見したら切取る。
    5. 根のまわりを踏まない。
  - ・また、不用意に根本を踏むとどうということになるのか
    1. 固い土壌になると、根が呼吸できない。
    2. 新たな根を張ることができない。
    3. 土が水を保持することができない。
    4. 微生物の活動が弱くなる。
    5. 根が傷つき、根頭がん腫病などの病気が発症する。
- サクラのためには周囲の根を踏まないことが一番大切です。

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 春（サクラ）コース

(※距離：2.2km)

**西側広場**  
平成9年サクラの名所づくりにより整備された

ヨウコウ	スルガダイニオイ
オオシマザクラ	フゲンソウ
ヤマザクラ	アマノガワ
シロタエ	ウコン
ジュウガツザクラ	ベニユタカ
カンザン	ハナガサ

**牡丹芍薬園**

ヤマザクラ
ウスズミザクラ
ナデン
フゲンソウ
アマヤドリ



- 説明ポイント
- 1) 1)-①、⑩、⑪について
  - 2) 2)-①について
  - 3) 1)-③について
  - 4) 1)-⑥について
  - 5) 1)-⑩について
  - 6) 2)-②、③、④、⑤について
  - 7) 1)-⑬、2)-⑥について
  - 8) 1)-⑦、⑩について
  - 9) 1)-⑧について
  - 10) 1)-⑫について
  - 11) 3)、4) について



お堀



本丸内



桐木坂前



天守台



御下屋敷跡（舞鶴中学校付近）



国指定史跡 福岡城跡

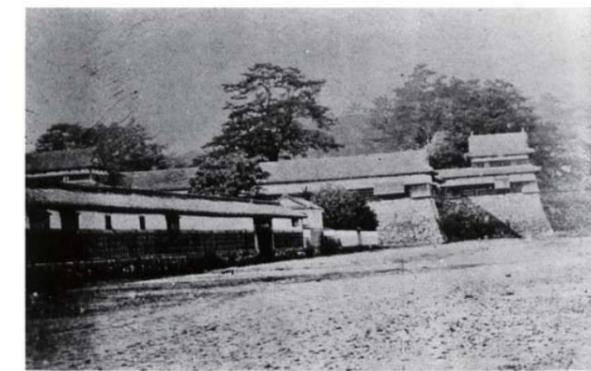
(城の概要)

- ・ 築城年：慶長 12 年 (1607)
- ・ 築城者：黒田 長政
- ・ 面積 (指定面積)：480,424.90 m<sup>2</sup> (48.0ha)
- ・ 指定年月日：昭和 32 年 (1957) 8 月 29 日
- ・ 都市公園認定：昭和 23 年 (1948)
- ・ 石垣延長：3,350m (最も高い石垣は 15m 以上)
- ・ 堀：約 25 万坪 (現存約 1 万 3 千坪)
- ・ 櫓：47 以上
- ・ 門：10 以上
- ・ 出入口：3 箇所  
(上之橋御門、下之橋御門、追廻御門)

(江戸時代初期の絵図)



「福博惣絵図」 福岡市博物館蔵



炭櫓、東御門、革櫓



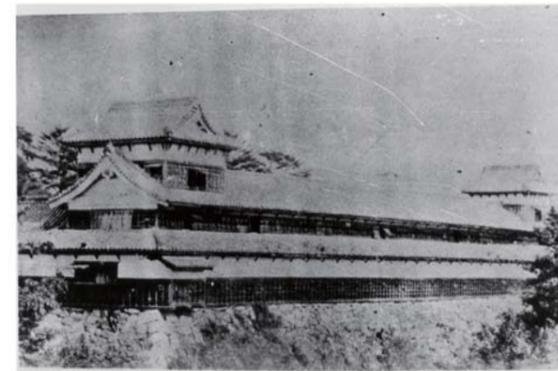
本丸表御門



本丸御殿



本丸裏御門



西三階櫓、武具櫓



多門櫓、鉄物櫓、追廻橋

(出典：国史跡福岡城跡 保存管理計画)

西側広場と牡丹芍薬園のサクラ



ヨウコウ



シロタエ



ジュウガツザクラ



カンザン



スルガダイニオイ



アマノガワ



シロタエ



ベニユタカ



ハナガサ



ヤエベニシダレ



ハナガサ



ウスズミザクラ



ナデン



フゲンゾウ



アマヤドリ

(出典：福岡市みどり推進課ホームページ)

春（花探訪）コース

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 1

### 春：花探訪

#### 1) 舞鶴公園について

① 舞鶴公園みどりガイドは、春夏秋冬の見どころを季節ごとに分け、案内します。この中で春については花の見どころも多く、季節的なズレもありますので、2通りのコースを用意しています。

第二回目は春の城内をにぎわす花の探訪（牡丹・芍薬園他）コースです。

② 春の花探訪に先立ち、舞鶴公園の歴史と将来計画について少し触れておきたいと思います。福岡城跡がどのような経緯で舞鶴公園となったのか、確たる文献等は見つかっていませんが、城跡の時代から博多湾より見た時、鶴の舞う姿に似ていたことから、別名舞鶴城とも呼ばれていたようです。明治から終戦までは陸軍の駐屯地でしたが、昭和 22 年市民運動場として市民に開放され、昭和 23 年には総合公園として都市計画決定されました。この時舞鶴公園となっております（面積約 40ha）。さらに同年には、第三回国民体育大会秋季大会の主会場として、テニスやバレーボールのコート、陸上競技場等のスポーツ施設（現在は球技場）が造られていました。平和台野球場は 2 年遅れで造られていました。その後、昭和 35 年に都市公園法による設置が認められました。

一方福岡城跡としては、国史跡指定が昭和 27 年に仮指定され、昭和 32 年 8 月 29 日に指定告示がありました。対象面積は約 48ha です。この他、南丸多聞櫓は昭和 46 年 12 月 28 日に国指定重要文化財に、また昭和 60 年代からは鴻臚館跡も本格

的に調査が始められ、平成 16 年 9 月 30 日付けで国指定史跡になっています。

このように都市公園法や文化財保護法等で保存された中で、各種の民間建物も逐次場外に移設され、跡地の公園整備が昭和 50 年代から進められ、平成 15 年前後からサクラの名所づくりも推進され、現在の姿になっています。

平成 3 年には、舞鶴公園将来構想がまとめられ、公園内の公共建物施設（平和台球場、病院等）の逐次移転が決まり、みどりと歴史・文化の拠点とする方向性が示されました。平成 25 年度には、大濠公園（県営公園）とも一体的な整備活用に向けたセントラルパーク構想も動き始めています。

- ③ 福岡城跡のことについても少し触れておきます。福岡城跡は今年の大河ドラマにも取り上げられている黒田官兵衛の長男黒田長政によって、慶長 6 年（1601）から慶長 12 年（1607）まで 7 年の月日をかけ造られています。官兵衛は御鷹屋敷、現在の牡丹・芍薬園に居住していたようですが、1604 年に没しているので城の竣工は見えていません。福岡藩は、九州内では薩摩・肥後藩に次ぐ 52 万石でしたが、福岡城跡は石垣の雄大さ、櫓の多さに特色がありました。

城内への出入り口は、北側の濠に面した上ノ橋大手門と下ノ橋大手門、南側の護国神社に面した追廻門の三カ所です。この他、三ノ丸から二ノ丸に向かう途中や（東御門、松ノ木門、桐木門）二ノ丸から本丸への入口に（本丸表御門、裏御門）天守台への入口に鉄御門等 10 ヶ所以上ありました。櫓は特に多く、重要文化財の南丸多聞櫓をはじめ、47 以上あったようです。

雄大な石垣の総延長は約 3.4 km で、最も高い石垣は 15m 程です。また、隣接する大濠公園を含めた堀面積も 25 万坪、（現

在は 4ha) 等が、規模や形状のあらましです。

## 2

### 2) 御鷹屋敷の由来

先にも触れたとおり、官兵衛・長政親子は、旧那珂郡福岡で福岡城の築城を 1601 年に開始し 1607 年に竣工させています。官兵衛は、慶長 9 年(1604 年)3 月 20 日、病氣療養のために住んでいた伏見黒田藩邸において、波乱の生涯を閉じます。従って官兵衛は、福岡城の竣工を見ておりません。また三の丸に隠居所「御鷹屋敷」を建ててもらいますが、1~2 年程度しかいなかったようです。ここが現在「牡丹・芍薬園」となっています。

黒田氏ゆかりの地・備前邑久郡福岡にちなんで、新しい城に福岡城、城下町に福岡と名付けます。また官兵衛は、戦火で焼かれて荒廃していた「大宰府天満宮」に寄進・再建しています。その前に小早川隆景が神殿のみを再興していましたが、官兵衛は楼門、廻廊、末社や橋なども整備したのです。さらに社領二千石を寄進した官兵衛を、天満宮は中興の祖とあがめました。そのため毎年正月、5 月、9 月の月忌二十日には官兵衛が好きだった連歌会を催し、それは明治に至るまで続いたそうです。なお官兵衛自身も天満宮を深く崇敬し、2 年間草庵を構えていました。その時に使用したといわれる井戸が、今も残っています。

福岡での官兵衛はのどかな生活を送りました。御鷹屋敷から外へ出て、庶民とも気軽に話していたと伝えられています。また子供たちが遊びに来て、どんなに部屋でいたずらをしても叱ったりすることはなかったそうです。

また、官兵衛は「ドン・シメオン」という洗礼名を持つキリシ

タン大名でもあり、如水についてもモーゼの後継者であり、カナンの地を攻め取った旧約聖書のヨシュアのポルトガル語読みであるジョズエ（Josué）から取ったとも言われています。

官兵衛没後の御鷹屋敷は主のない状態でその後絵図などでは、山裾部に番小屋が見られる（1653～1688年）ほか御鷹屋敷は周囲に樹林、内部は特に用途が示されていません。明治初年の段階では全体が竹林となっています。

第二次世界大戦後、一時期は福岡大学があり移転後牡丹・芍薬園として整備され今日に至ります。

### 3

#### 3) 牡丹・芍薬

##### ①牡丹・芍薬園

- ・ 牡丹・芍薬園には 21 種の牡丹と、18 種の芍薬があります。
- ・ 見ごろは、牡丹が 4 月上旬から 5 月上旬、芍薬が 4 月下旬から 5 月下旬頃となっています。
- ・ 21 種の牡丹と、18 種の芍薬は次の位置図のように植えられています。

(P5 図 1-1 牡丹・芍薬園 花の位置図 参照)

※なお開園時間は午前 9 時～午後 5 時まで



### 牡丹

- 1 金鶏 (キンシ)
- 2 島の司 (シマノツカサ)
- 3 新天地 (シンテンチ)
- 4 ハイヌーン
- 5 大御代 (オオミヨ)
- 6 太陽 (タイヨウ)
- 7 大正の光 (タイショウノヒカリ)
- 8 八千代椿 (ヤチヨツバキ)
- 9 玉芙蓉 (タマフヨウ)
- 10 白神 (ハクシン)
- 11 花競 (ハナキソイ)
- 12 五代州 (ゴダイシュウ)
- 13 吉野川 (ヨシノガワ)
- 14 花王 (カオウ)
- 15 花遊 (ハナアソビ)
- 16 雪重 (ユキガサネ)
- 17 鳥羽玉 (ウバタマ)
- 18 白雲龍 (ハクウンリウウ)
- 19 島大臣 (シマダイジン)
- 20 鎌田藤 (カマタフジ)
- 21 島錦 (シマニシキ)

### 芍薬

- A ルーズベルト
- B 小島の輝 (コジマノヒカリ)
- C 駒沢 (コマザワ)
- D プリマベラ
- E 肥後芍薬 (ヒゴシヤクヤク)
- F 深山の雪 (ミヤマノユキ)
- G 富士 (フジ)
- H 白妙 (シロタエ)
- I 紅河 (コウガ)
- J 菅平 20 号 (スガダイラ 20 ゴウ)
- K サラ・ベルナル
- L 満月 (マンゲツ)
- M 信濃の月 (シナノノツキ)
- N 信濃の春 (シナノノハル)
- O ニュー・アレクサンダー
- P パンカー・ヒル
- Q アルプス
- R 春の里 (ハルノサト)

図 1-1 牡丹・芍薬園 花の位置図

(出典：舞鶴公園 牡丹芍薬マップ)

## ②牡丹について

原産地は中国西北部で、元は薬用として利用されていましたが、中国の古代では、牡丹の花が「花の王」として他のどの花よりも愛好されるようになったそうです。たとえば、隋の煬帝や初唐の則天武后が牡丹を愛でたという故事があります。

特に楊貴妃は傾国の美女として有名ですが、その美しさは牡丹の美しさに例えられ、中国では最も美しい花とされていました。

日本でも牡丹は、漢方や絵画・焼き物等の文様・家紋など幅広く親しまれている花の一つです。

### ア. 文化や日常の中での牡丹

(漢方)

根の樹皮部分は「牡丹皮(ぼたんぴ)」として、大黄牡丹皮湯、六味地黄丸、八味丸など漢方薬の原料になり、日本薬局方にも収録されています。薬効成分はペオノールです。(消炎・止血・鎮痛などに効く)

(絵画)

狩野山楽「牡丹図」(大覚寺宸殿・牡丹の間の襖絵 18面)

葛飾北斎「牡丹に蝶」

速水御舟「牡丹」、「墨牡丹」 ほか

(文様)

着物、陶磁器や漆器、家具等の文様に好んで描かれています。

「青漆塗牡丹沈金中平」(輪島塗)

唐獅子牡丹紋角形水滴

## 建築の意匠

日光東照宮の彫刻（東西廻廊）                      ほか

（家紋）

牡丹紋（ぼたんもん）は日本の家紋の一種で、牡丹の花や葉を図案化したものです。

## イ. 牡丹の種類

牡丹の樹高は原種で3m、接木で作られる園芸品種で1-1.5m程度とされています。従来は種からの栽培しかできなくて正に「高嶺の花」であったようですが、戦後に芍薬を使用した接ぎ木が考案され、急速に普及しました。

種類は大きく分けて日本牡丹・中国牡丹・西洋牡丹（ピオニー）ですが、品種改良が盛んに行われ、園芸品種が非常に多く、花色も豊富（原種は紫紅色）で、花形も多彩です。花の色は赤・赤紫・紫・薄紅・黄・白があります。咲き方は一重・八重・千重、大輪・中輪に分けられます。また季節によって楽しめる品種があるのも大きな特徴です。

（春牡丹）

春牡丹は4-5月に開花する一般的な品種です。

（寒牡丹）

春と秋に花をつける二季咲きの変種です。通常は、春にできる蕾は摘み取り、秋にできる蕾のみを残し10月下旬から1月に開花させます。

## (冬牡丹)

春牡丹と同じ品種を1-2月に開花するよう、特に手間をかけて調整したもので、放置すると春咲きに戻ってしまいます。

## ウ. 牡丹の育て方

- 牡丹が園芸店に並ぶのは花の時期4月頃と植え替え時期の9月～10月頃です。牡丹の花は一枝に二花程に花数をとどめ、木を弱らせないために、花後は速やかに摘み取ります。
- 牡丹は夏の暑さを嫌う植物です。真夏にはできるだけ温度を下げてやりましょう。牡丹は9月頃休眠に入り、植え替え時期を迎えます。午前中、日の当たる、排水・風通しのよい西日を避けられる場所が最適です。
- 植え替えは牡丹の根をよく水で洗い、痛んでいる根を取り除き、鉢でしたら10号程の穴の沢山あいた鉢を用い（プラスチックでしたら穴を増やす）、ゴロ土を多めに入れ芍薬との接木部分を3～5cm埋まるように植えつけます。
- 地植えの場合、夏までに50cm程の穴を掘り、牛糞や腐葉土などを土とよく混ぜ、馴染ませ植え付けに備えます。接木部分を3～5cm埋まるように植付け、たっぷり灌水して下さい。倒れるようでしたら支柱で押さえると良いでしょう。
- 肥料は霜の降りる12～2月頃、寒肥として乾燥鶏糞や堆肥などの完熟有機肥料を、根元から離して（葉があった先あたり）に一株500g程度施してください。
- 牡丹の病害としては、白絹病が多く挙げられます。これを防ぐには、6月～9月頃と12月～2月にかけて、殺菌剤の散布をすると良いでしょう。

- 春になると芍薬の台木が出てくるので掻き取ります。牡丹のひこばえも出てきます。残すのは元気なもの3本程度にとどめてください。牡丹の開花時期は関東ですと4月中旬～5月中旬頃です。
- 花をいつまでもそのままにしておくと種を付けてしまい、栄養を奪われます。花びらが散り始める頃には花首のすぐ下でつまんでください。5月下旬くらいまでに、茎と葉の間に出来ている芽の下2つを残し上の方を掻き取ってください。これを芽かきと言います。
- 乾いていたら、水をたっぷり与えましょう。
- 9月下旬頃には葉が傷んだ状態になっているので、全て葉を切り落としてください。また12月くらいまでには不要な茎の部分を切り取ります。これを摘葉・整枝と言います。

### ③牡丹について

#### ア. 芍薬とは

- 芍薬は牡丹科の宿根草で、色も様々、咲き方も一重から八重まで様々あります。中国、シベリア、朝鮮原産の多年草です。
- 中国では紀元前にすでに薬草として栽培され、その後は主に観賞用に栽培されてきました。宋の時代には品種改良が進み、園芸的に流行したとのこと。
- 日本には奈良時代に渡来しました。当初は薬草として栽培され、その後観賞用として盛んに改良されてきました。日本での最初の記録は、850年頃の「諸国徂人誌」であり、「小野小町が出羽国小町村に99株植えた」とされます。

- なお、日本にはヤマシャクヤク (*P. japonica* (Makino) Miyabe et Takeda) とベニバナヤマシャクヤク (*P. obovata* Maxim.) が自生していましたが、これらが観賞用として栽培されたことはほとんどありませんでした。
- 中国から伝えられた種類が江戸時代に大いに栽培され、品種改良も行われました。明治時代以後には神奈川県立農事試験場で品種改良が組織的に行われ、昭和初期には新品種700品種が発表されました。
- 日本で江戸時代から育成された和シャクヤクには、一重咲きの品種が多く、一方、ヨーロッパやアメリカで品種改良された洋芍薬には八重咲きやバラ咲きの豪華な品種が多数あります。
- 根は漢薬「芍薬(シャクヤク)」として鎮痛作用をはじめ、抗炎症作用、平滑筋弛緩作用などの効能があるとされます。
- 原産地からもわかるように、耐寒性にはありますが高温多湿に弱いため、半日陰の風通しの良い涼しい所に植えるとよいです。
- 花形の変化は牡丹よりも多彩で、一重、八重、半八重、万重などがあり、その形も「金しべ咲き」、「おきな咲き」など様々です。

## イ. 大輪を咲かせる！手入れのコツ

(花が咲く前)

- 芽かき込み合った茎、細い茎、つぼみのない茎など、不要な芽を切り、つぼみがついている太い茎に栄養を集中させる。また、風通しが良くなり、病虫害の発生を抑える効果もある。切り方は思い切り良く、茎の根元からチョッキン。

- ・摘蕾（てきらい）

脇から出ている蕾は切り取り、1本の茎につき1つだけのつぼみに栄養を集中させる。

切り方は脇芽の根元からチョッキン。

鉢植えの場合、3輪から5輪くらいつぼみを残すのが適当。

（花が咲いた後）

- ・花がら摘み

満開をすぎて傷み出したら、花を切り取る。

切り方は、花のすぐ下、花首でチョッキン。

綺麗な花がもったいないのでまだ切花として楽しみたいという場合は、茎ごと切り取っても良いが、必ず葉を2〜3枚残して切る。光合成で株を充実させるため、葉を全部切り取ってはいけない。

- ・お礼肥

芍薬は肥料食いなので、花が終わったらすぐにお礼肥をする。

即効性の化成肥料（夏に肥料分を残さないよう、即効性が良い）を、1鉢につき軽く1掴み程度を、表土全体に広がるようぱらぱらと撒く。根が傷むので、夏には肥料をやらない。

秋に涼しくなったら、醗酵油かすなどの有機質肥料をやり、堆肥で株元をマルチングする。

（鉢植えの管理のポイント）

芍薬は乾燥を嫌うので、表土が乾いたらたっぷりと水やりする（特に春の成長期はたっぷりと）。

置き場所は日当たりを好むが、真夏の暑い時期は根が焼けないよう日陰に移します。

鉢植えのまま育てる場合は、3年に1回くらい植え替えをする。

土の入れ替えが目的なので、必ずしもこれまでより大きな鉢でなくても良い。

#### ④その他牡丹・芍薬の見分け方

- ・葉は互生し、下部の葉は2回3出複葉、上部の葉は3出葉。小葉は狭卵形、披針形、または長楕円形。無毛でやや厚く光沢がある。
- ・かつて牡丹属はキンポウゲ科に分類されていたが、現在は本属のみからなるボタン科 (Paeoniaceae) が設立されている。
- ・牡丹と芍薬は花をみただけでは区別が難しいとされるが、判別には株元を見るとよい。
- ・牡丹は木（灌木）で、芍薬は草（多年草）、芍薬は冬に地上部が枯れるが、牡丹は木質の地上茎が残る。
- ・牡丹が咲き終り少し経つと芍薬が咲き始め、牡丹より芍薬の方が若干小柄である。

#### ⑤福岡市内の牡丹・芍薬園

筥崎宮の牡丹や植物園でも楽しめます。また、唐津肥前町の「切木ぼたん」は九州最大級の牡丹・芍薬園で、4月中旬～5月上旬にかけ「ぼたん芍薬まつり」が催されています。

牡丹 21種



品種名 金鶴  
(キンシ)  
開花期 5月上旬  
色など 黄系 万重 大輪  
位置図 1



品種名 島の司  
(シマノツカサ)  
開花期 4月下旬  
色など 濃紅系  
位置図 2



品種名 新天地  
(シンテンチ)  
開花期 4月上旬  
色など 桃系 八重 大輪  
位置図 3



品種名 ハイヌーン  
開花期 4月下旬  
色など 黄系 アメリカ系  
八重 中輪  
位置図 4



品種名 大御代  
(オオミヨ)  
開花期 4月下旬  
色など 桃系  
位置図 5



品種名 太陽  
(タイヨウ)  
開花期 4月上旬  
色など 赤系 八重 中輪  
位置図 6



品種名 大正の光  
(タイショウノヒカリ)  
開花期 4月中旬  
色など 赤系 千重 大輪  
位置図 7



品種名 八千代椿  
(ヤチヨツバキ)  
開花期 4月中旬～  
色など 桃系 千重丸弁 中輪  
位置図 8



品種名 玉芙蓉  
(タマフヨウ)  
開花期 4月中旬  
色など 桃系 千重泡入咲  
位置図 9



品種名 白神  
(ハクシン)  
開花期 4月下旬  
色など 白系 千重 大輪  
位置図 10



品種名 花鏡  
(ハナキョウ)  
開花期 4月上旬  
色など 桃系 千重 大輪  
位置図 11



品種名 五代州  
(ゴダイシュウ)  
開花期 4月上旬  
色など 白系 千重 大輪  
位置図 12



品種名 吉野川  
(ヨシノガワ)  
開花期 4月上旬  
色など 桃系 千重 小輪  
位置図 13



品種名 花王  
(カオウ)  
開花期 4月下旬  
色など 赤系 万重 大輪  
位置図 14



品種名 花遊  
(ハナアソビ)  
開花期 4月上旬  
色など 赤系 八重 大輪  
位置図 15



品種名 雪重  
(ユキガサネ)  
開花期 4月上旬  
色など 白系 中輪  
位置図 16



品種名 鳥羽玉  
(ウバタマ)  
開花期 4月中旬  
色など 黒系  
位置図 17



品種名 白雲龍  
(ハクウンリウウ)  
開花期 4月上旬  
色など 白系 中輪  
位置図 18



品種名 鳥大臣  
(シマダイジン)  
開花期 4月中旬  
色など 紫系 千重 大輪  
位置図 19



品種名 鎌田藤  
(カマタフジ)  
開花期 4月中旬  
色など 紫系 千重 大輪  
位置図 20

芍薬 18種

 <p>品種名 島飾 (シマニシキ) 開花期 4月上旬 色など 複色 千重 中輪 位置図 21</p>		 <p>品種名 ルーズベルト 開花期 4月下旬 色など 濃桃弁端白色 位置図 A</p>	 <p>品種名 小島の輝 (コジマノヒカリ) 開花期 5月上旬 色など 赤紫色 位置図 B</p>
 <p>品種名 駒沢 (コマザワ) 開花期 5月上旬～ 色など 桃色 位置図 C</p>	 <p>品種名 プリマベラ 開花期 5月上旬～ 色など 白色一重 位置図 D</p>	 <p>品種名 総後芍薬 (ヒゴシャクヤク) 開花期 5月上旬 色など 濃赤紫色 位置図 E</p>	 <p>品種名 深山の雪 (ミヤマノユキ) 開花期 5月上旬～ 色など 白色 位置図 F</p>
(出典：舞鶴公園 牡丹芍薬マップ)			
 <p>品種名 富士 (フジ) 開花期 5月上旬～ 色など 淡赤紫色 位置図 G</p>	 <p>品種名 白紗 (シロタエ) 開花期 5月上旬～ 色など 白色 位置図 H</p>	 <p>品種名 紅河 (コウガ) 開花期 5月上旬～ 色など 濃赤紫色 位置図 I</p>	 <p>品種名 普平20号 (スガダイラ20ゴウ) 開花期 5月下旬～ 色など 桃色 位置図 J</p>
 <p>品種名 サラ・ ベルナール 開花期 5月下旬～ 色など 淡赤紫色ほかし 位置図 K</p>	 <p>品種名 満月 (マングツ) 開花期 5月上旬～ 色など 白色 金しべ咲き 位置図 L</p>	 <p>品種名 信濃の月 (シナノツキ) 開花期 5月上旬～ 色など 白色 位置図 M</p>	 <p>品種名 信濃の春 (シナノハル) 開花期 5月下旬～ 色など 桃色 極大輪 位置図 N</p>
 <p>品種名 ニュー・ アレキサンダー 開花期 5月上旬～ 色など 白色 赤色筋絞り 位置図 O</p>	 <p>品種名 パンカー・ヒル 開花期 5月下旬～ 色など 濃赤色/一重 大輪 位置図 P</p>	 <p>品種名 アルブス 開花期 5月上旬～ 色など 純白/八重 位置図 Q</p>	 <p>品種名 春の里 (ハルノサト) 開花期 5月下旬～ 色など 濃桃色/八重 位置図 R</p>

(出典：舞鶴公園 牡丹芍薬マップ)

#### 4) 福岡城と藤

現在藤棚のある場所は 1653～1688 年頃の筑前国福岡城図の中では、米蔵が示されています。その後長い間、用途を示された資料はありません。

##### ① 黒田家と藤の関わり

- ・ 藤は繁殖力が強く、初夏に咲く紫色の花は美しい。その藤にちなんで藤紋は藤原氏の代表的な家紋にされています。

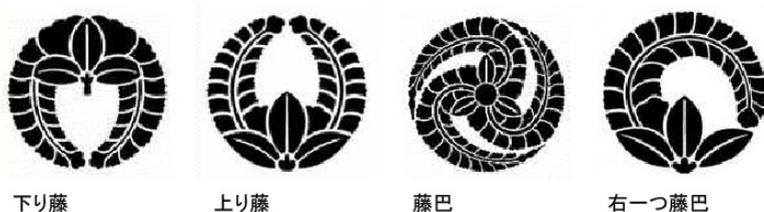


図 1-2 藤の家紋

- ・ 日本では多く使用されている藤紋は藤原氏が用いた紋で、中臣（藤原）鎌足が大和に藤原の里を下賜されてからおこり、後々まで栄えた藤原氏にあやかって藤紋を使用するようになりました。
- ・ 黒田氏は宇多源氏佐々木氏の末流です。鎌倉時代の末、近江北方六郡守護である佐々木京極佐渡守満信の次男四郎左衛門尉宗満が、近江国伊香郡黒田村に住んで黒田判官を称したのが始まりです。

播磨黒田氏系図

○赤松円光

重光—重勝—重康—光勝—重貞—重昭—重範

近江佐々木系京極氏系図

○佐々木氏信

満信—(黒田)宗満—宗信—高教—高信—娘

重隆—孝高 (如水・官兵衛)  
(官兵衛)

図 1-3 黒田氏系図

- ・ 黒田氏が定紋とした「藤巴」紋は職隆が仕えた小寺氏の家紋であり、播磨守護職を世襲した赤松氏の一族で、「藤巴紋」は赤松氏の巴紋を変化させたものと思われます。そして小寺氏の藤巴は橘紋と組み合わせているのが特徴です。黒田氏は主家小寺政職から小寺の名字を名乗ることを許されたとき、藤巴紋も賜ったものと思われます。



巴



藤橘巴



藤巴

図 1-4 黒田氏 家紋

② 藤の種類

- ・ フジの仲間はずるが右巻きの「ノダフジ」と、左巻きの「ヤマフジ」の2系統に大別され、単に「フジ」という場合は、通常

「ノダフジ」を指します。2種類のフジの特徴は次表 1-1（フジの特徴）のとおりです。

表1-1 フジの特徴

	ノダフジ(野田藤)	ヤマフジ(山藤)
分 布	本州、四国、九州 (山野に自生する)	本州西部、四国、九州 (山地に自生する)
蔓の巻き方	右巻き(上から見ると右回り)	左巻き(上から見ると左回り)
		
花の特徴	薄紫色の花を多数つけ、花房は長く垂れ下がりがり20～80cmにもなる。	淡い紫色の花を多数つけ、花房はノダフジに比較して短い
大きさ	小さい	大きい
花穂	長い	短い
咲きかた	根元から先端へと、順番に花が咲いていく	根元から先端まで、花の咲く時間に差がない
その他	一般的にフジと呼ばれているもの。花房が長く、観賞用に好まれる。かなり太くなるツル性の木本。	ノダフジに似ているが別種で、ノダフジに比べて花と葉が小さい。小葉は9～13枚で葉の両面に細かい白毛が密生している。園芸品種に「シラフジ」(別名:シロカビタン)がある。
	ノダフジ系の品種 … 九尺藤 花房の長さが2m以上にもなる。	ヤマフジ系の品種 … 昭和紅藤 小さく育ち、花色がピンク色をしている。

(出典：平成25年度緑のコーディネーター等研修会  
—フジをきれいにさかせるには—)

### ③ 舞鶴公園の藤

- ・ 舞鶴公園内には4か所の藤棚があります。一番大きい藤棚があるのは、藤園で、面積にして約1,300㎡になります。また、ソメイヨシノの花が散るころには、多くの花見客が訪れた桜園(本丸)の藤棚で、藤がひっそりと満開を迎えます。一面に甘い香りが漂います。
- ・ 福岡県庁が福岡市中央区の天神から1981年に現在の東公園地区に移転した際、東公園にあった100年を超す立派なフジ20本程度を移植しました。
- ・ 現在約30本の藤がありますが、藤棚工事において補植したものであると思われます。
- ・ 舞鶴公園では平成23年より藤園再生事業が行われ、活性化調査・診断、活力度調査、治療剪定管理などが行われています。

### ④ 藤まつり

- ・ 平成25年より藤園では藤まつりが行われており、藤棚の下ではカフェが開かれ、樹木医による庭木相談や「黒田家の家紋のいわれ」についての講座が開設されています。

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 春（花探訪）コース

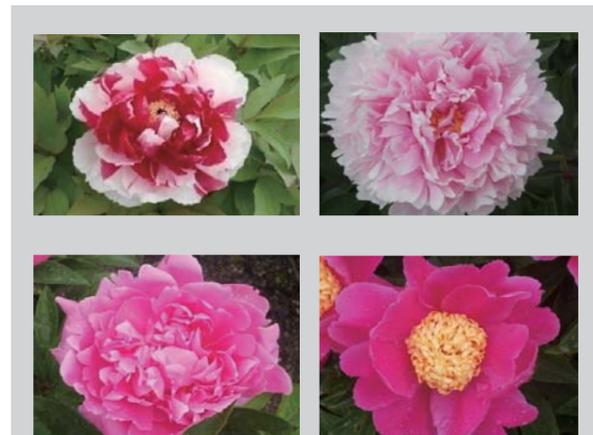
(※距離：1.4km)



牡丹・芍薬園



牡丹

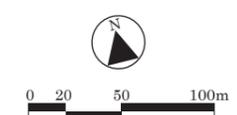


芍薬

舞鶴公園内でも樹齢を重ねた樹木が立ち並ぶ通り

- 説明ポイント
- 1) 1)
  - 2) 2)
  - 3) ①～④
  - 4) 4)

●：巨木と珍木の位置を示す。



# 国指定史跡 福岡城跡

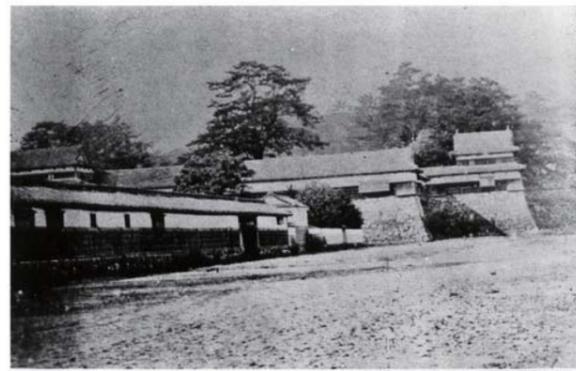
## (城の概要)

- ・ 築城年：慶長 12 年 (1607)
- ・ 築城者：黒田 長政
- ・ 面積 (指定面積)：480,424.90 m<sup>2</sup> (48.0ha)
- ・ 指定年月日：昭和 32 年 (1957) 8 月 29 日
- ・ 都市公園認定：昭和 23 年 (1948)
- ・ 石垣延長：3,350m (最も高い石垣は 15m 以上)
- ・ 堀：約 25 万坪 (現存約 1 万 3 千坪)
- ・ 櫓：47 以上
- ・ 門：10 以上
- ・ 出入口：3 箇所  
(上之橋御門、下之橋御門、追廻御門)

## (江戸時代初期の絵図)



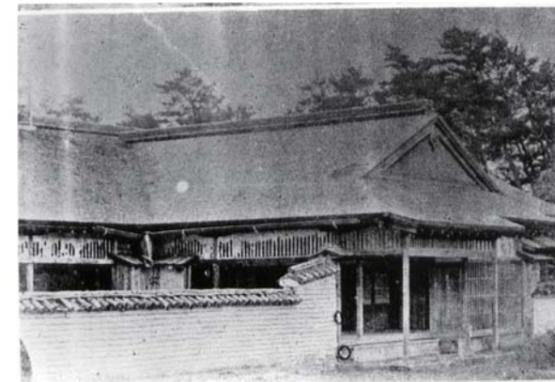
「福博惣絵図」 福岡市博物館蔵



炭櫓、東御門、革櫓



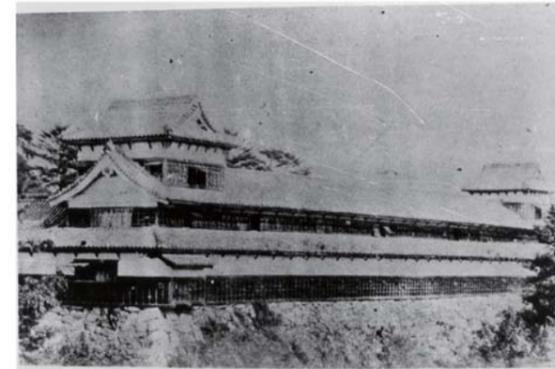
本丸表御門



本丸御殿



本丸裏御門



西三階櫓、武具櫓



多門櫓、鉄物櫓、追廻橋

(出典：国史跡福岡城跡 保存管理計画)

## フジ棚



(出典：緑のまちづくり協会ホームページ)

## ツツジ園



キリシマ (クルメツツジ)



サツキ



ヒラドツツジ



オオムラサキ

(出典：『日本の樹木』山と溪谷社)

夏（お濠の植物と生物）コース

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 1

### 夏：お濠の植物と生物

#### 1) 舞鶴公園について

- ① 舞鶴公園みどりガイドは、春夏秋冬の見どころを季節ごとに分け、案内します。第三回目はお濠の植物と生物です。
- ② お濠の植物と生物の説明に先立ち、舞鶴公園の歴史と将来計画について少し触れておきたいと思います。福岡城跡がどのような経緯で舞鶴公園となったのか、確たる文献等は見つかっていませんが、城跡の時代から博多湾より見た時、鶴の舞う姿に似ていたことから、別名舞鶴城とも呼ばれていたようです。明治から終戦までは陸軍の駐屯地でしたが、昭和 22 年市民運動場として市民に開放され、昭和 23 年には総合公園として都市計画決定されました。この時舞鶴公園となっております（面積約 40ha）。さらに同年には、第三回国民体育大会秋季大会の主会場として、テニスやバレーボールのコート、陸上競技場等のスポーツ施設（現在は球技場）が造られていました。平和台野球場は 2 年遅れで造られていました。その後、昭和 35 年に都市公園法による設置が認められました。

一方福岡城跡としては、国史跡指定が昭和 27 年に仮指定され、昭和 32 年 8 月 29 日に指定告示がありました。対象面積は約 48ha です。この他、南丸多聞櫓は昭和 46 年 12 月 28 日に国指定重要文化財に、また昭和 60 年代からは鴻臚館跡も本格的に調査が始められ、平成 16 年 9 月 30 日付けで国指定史跡になっています。

このように都市公園法や文化財保護法等で保存された中で、各種の民間建物も逐次場外に移設され、跡地の公園整備が昭和

50年代から進められ、平成15年前後からサクラの名所づくりも推進され、現在の姿になっています。

平成3年には、舞鶴公園将来構想がまとめられ、公園内の公共建物施設（平和台球場、病院等）の逐次移転が決まり、みどりと歴史・文化の拠点とする方向性が示されました。平成25年度には、大濠公園（県営公園）とも一体的な整備活用に向けたセントラルパーク構想も動き始めています。

- ③ 福岡城跡のことについても少し触れておきます。福岡城跡は今年の大河ドラマにも取り上げられている黒田官兵衛の長男黒田長政によって、慶長6年（1601）から慶長12年（1607）まで7年の月日をかけ造られています。官兵衛は御鷹屋敷、現在の牡丹・芍薬園に居住していたようですが、1604年に没しているので城の竣工は見えていません。福岡藩は、九州内では薩摩・肥後藩に次ぐ52万石でしたが、福岡城跡は石垣の雄大さ、櫓の多さに特色がありました。

城内への出入り口は、北側の濠に面した上ノ橋大手門と下ノ橋大手門、南側の護国神社に面した追廻門の三カ所です。この他、三ノ丸から二ノ丸に向かう途中や（東御門、松ノ木門、桐木門）二ノ丸から本丸への入口に（本丸表御門、裏御門）天守台への入口に鉄御門等10ヶ所以上ありました。櫓は特に多く、重要文化財の南丸多聞櫓をはじめ、47以上あったようです。

雄大な石垣の総延長は約3.4kmで、最も高い石垣は15m程です。また、隣接する大濠公園を含めた堀面積も25万坪、（現在は4ha）等が、規模や形状のあらましです。

## 2) お堀の植物

### ① お堀の植物の概要

- ・ 舞鶴公園のお堀は、現在の赤坂、大名、天神をへて那珂川までつながっていました。(図 2-1 福岡市明細図 参照)
- ・ 国体道路(昭和 23 年福岡国体に合わせ整備された)は、お濠を埋め立てて整備されました。
- ・ 現在のお堀は明治通り側と護国神社、大濠公園に一部を残すのみとなっています。(裁判所前東側から 1 号濠～5 号濠、護国神社北側に 6 号濠)
- ・ 明治 4 年の廃藩置県により福岡城内に県庁が設置されました。その後県庁が移転したあと、福岡城は陸軍省が管理することとなりました。
- ・ 県は勸業試験地として明治 11 年に下げ渡しを申請しました。
- ・ 勸業試験地となったお堀には、ハスが植えられ、レンコンが栽培されました。
- ・ お堀はその後黒田家に下げ渡され、堀のレンコンの売上や土手の借地料などの収益は尋常中学修猷館(現在の福岡県立修猷館高校)の経費の一部や九州帝国大学(現在の九州大学)設置のための費用にあてられたり、黒田家が設立した奨学基金(黒田奨学会)のもとになりました。
- ・ 福岡市は福岡城の堀を埋め立てながら市街地を作ってきました。お堀は明治 43 年と大正後半に埋め立てられ、市街地を南北に隔てていた堀は姿を消しました。
- ・ 現在のお堀ではハス・スイレンが植えられ、天然記念物のツクシオオガヤツリが見られます。
- ・ ハスは 6 月下旬から 8 月中旬まで花を楽しむことができます。
- ・ スイレンは 2 ヶ所の濠(下之橋横 4 号濠・護国神社前 6 号濠)にあり、5 月上旬から 10 月中旬まで花が楽しめます。



( 出典：福岡市明細図（明治 23 年発行） 福岡県立図書館所蔵 )

図 2-1 福岡市明細図

### ※明治 23 年 福岡市の濠の形態

江戸時代初期の福岡城絵図（福博惣絵図）の形態とほぼ同じ形状である。福岡城の濠は、西側は現在の大濠公園の全体と東側は中堀～肥前堀と連なり那珂川まで続く大規模なものでした。

## ② 天然記念物 ツクシオオガヤツリ

- ・ 天然記念物のツクシオオガヤツリは、明治 39 年に福岡城のお堀で世界で初めて発見されました。
- ・ 明治 39 年当時東京帝国大学理科大学の助手であった牧野富太郎氏が来福した際に福岡城のお堀で発見し、牧野氏が仮にツクシガヤツリと命名しました。
- ・ その後、昭和 6 年に植物学者大井次三郎氏が当時のカヤツリグサ属の権威のいるドイツに標本を送付したところ新種と鑑定され、大井の名をつけた学名が与えられ、和名もツクシオオガヤツリとなったといひます。
- ・ この基準標本は福岡城の堀から採取されたものです。
- ・ 現在ツクシオオガヤツリは裁判所前の 1 号濠と 2 号濠、護国神社前の 6 号濠で見られます。



ハス



スイレン



ツクシオオガヤツリ

### ③ ハスの現状と再生計画

#### ア. ハスの現状

- ・ 現在のハスの生育状況は、1号濠・2号濠・3号濠では生育良好、3号濠の東側・5号濠では生えておらず、濠ごとの生育状況は大きく異なります。



ハスが全く生えていない5号濠



ハスの生育が良好な2号濠



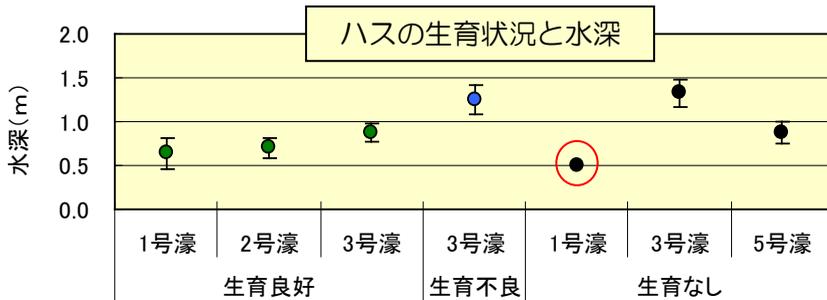
図 2-2 平成 24 年度 舞鶴公園ハス調査 調査結果図

- ・ お堀ではハスの生育状況と衰退原因の究明のため、病虫害や水質・底質環境の現地調査を実施しています。
- ・ また、本堀に相当数の個体が生息し、食害影響が疑われるアカミミガメの食害実証実験を実施しています。
- ・ ハスの再生を実現している佐賀城址の事例やハスの生態・被害の情報を収集しています。
- ・ 調査の結果、衰退原因として推定されることは表 2-1 のようなことでした。

表 2-1 ハスの衰退原因

○: 関連性が高い △: 関連の可能性あり

	原因	内容
○	アカミミガメによる食害	他事例と共通した茎・葉の被害状況がみられる
○	水深	推進の深さが生育不良・生育なしの一因となっている(下図参照)
△	底質状況	砂分の多い場所(1号濠の一部)はハスの生育に適していない
△	底泥の有機物量	有機物量の多さが、生育不良の原因や障害となっている
△	pH	光を遮るハスの葉がないと、植物プランクトンの発生でpHが8程度と高くなり、ハスが回復しにくい(ハスの好適なpHは6程度)



○: 砂分の多い場所

※縦棒は標準偏差

( 出典: 福岡城濠におけるカメ類の生息状況調査報告書  
平成 22 年 10 月財団法人 九州環境管理協会 )

## イ. カメ類の生息状況調査

- 福岡城のお堀では、アカミミガメの食害が一因と考えられるハスの枯死が生じているため、平成 22 年にお堀に生息するアカミミガメの個体数を推定し、今後の対策の資料とするため、カメ類の生息状況調査が行われました。
- 調査方法はカニかごを用いた捕獲調査を 2 回行い、2 回の個体数から生息個体数を推定しました。

表 2-2 各調査における捕獲個体数  
(アカミミガメ)

1回目調査日：平成22年 9月14日

2回目調査日：平成22年10月 4日

調査箇所	アカミミガメ			捕獲率 (1回目)	捕獲率 (2回目)	濠ごとの 合計捕獲数
	1回目	2回目				
		初捕獲	再捕獲			
1号濠	51	5	15	10.2	4	71
2号濠	32	5	10	6.4	3	47
3号濠	54	13	22	2	1.3	89
4号濠	8		1	4	0.5	9
5号濠	66	17	33	6	4.5	116
合計 捕獲個体数	211	40	81	-	-	332
	251			-	-	

備考1) 捕獲率はカニかご1個あたりの捕獲数を示す

備考2) 濠ごとの合計捕獲数には1回目および2回目の全捕獲個体を含む

表 2-3 各調査における捕獲個体数  
(クサガメ・ニホンイシガメ・スッポン)

1回目調査日：平成22年 9月14日

2回目調査日：平成22年10月 4日

調査箇所	クサガメ			ニホンイシガメ			スッポン			濠ごとの 合計捕獲数
	1回目	2回目		1回目	2回目		1回目	2回目		
		初捕獲	再捕獲		初捕獲	再捕獲		初捕獲	再捕獲	
1号濠	3	1	1	1	1					7
2号濠	4	1								5
3号濠							2			2
4号濠										0
5号濠	7		6				1			14
合計 捕獲個体数	14	2	7	1	1	0	3	0	0	28
	16			2						

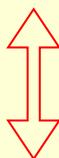
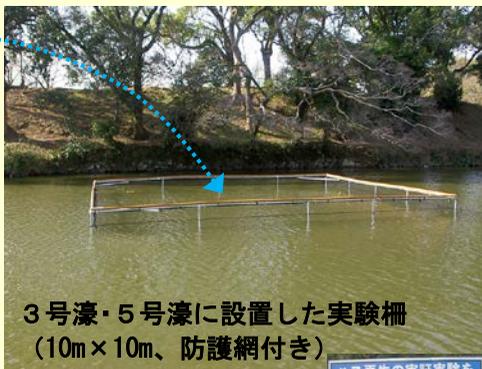
備考1) 濠ごとの合計捕獲数には1回目および2回目の全捕獲個体を含む

## ウ. ハスの再生計画

- 平成 25 年度には、本濠における実証実験により「カメの食害影響」、「水深の影響の程度」、「底質有機物の影響の程度」、「pH による生育への影響の程度」を明らかにします。
- 現地調査や実証試験により衰退原因を特定し、水深の適正化(0.5～0.6m)、食害の防除、ハスの植栽などの対策を計画し、対策の実施・検証につなげていきます。

## ★カメ食害実証実験

ハスの豊富な場所から、  
種レンコンを移植



侵入防止



濠に多数生息している  
アカミミガメ



3

### 3) 水辺や樹林等の生物

- お濠にはシオカラトンボ・ショウジョウトンボ・モノサシトンボ・チョウトンボ等の水辺の昆虫が多く見られます。
- そのほかアオサギ・カモといった鳥類や、水中ではカメ（アカミミガメ、クサガメ、ニホンイシガメ、スッポン）とコイ

が見られます。

- ・ 舞鶴公園の樹林地と広場の間の草地や花の周囲にはモンシロチョウ・モンキチョウ・ヤマトシジミ・ベニシジミ・ツバメシジミ・ナミアゲハ等の蝶類も多く見ることができます。
- ・ その他樹林内には、クマゼミ・ニイニイゼミ・ラミーカミキリ・オンブバッタなどの昆虫も沢山います。
- ・ 城内で夏に花が咲く植物は、アジサイ・サルスベリ・ムクゲ・キョウチクトウ・ビョウヤナギなどです。



オオシオカラトンボ



ショウジョウトンボ



モノサイトンボ



チョウトンボ



アオサギ



マガモ



クサガメ



コイ



モンシロチョウ



ツバメシジミ



ヤマトシジミ



ナミアゲハ



クマゼミ



ニイニイゼミ



ラミーカミキリ



オンブバッタ

公園内樹木(夏1)

<p>54</p> 	<p><b>樹種名:</b>ウツギ 落葉高木 アジサイ科 ウツギ属</p> <p>ウノハナ(卵の花)とも呼ばれる。花期は5-7月。枝先に円錐花序をつけ、多くの白い花を咲かせる。普通、花弁は5枚で細長い、八重咲きなどもある。葉が中空のため空木(うつぎ)と呼ばれる。「卵の花」の名は空木の花の意、または卯月(旧暦4月)に咲く花の意ともいう。</p>
<p>70</p> 	<p><b>樹種名:</b>ミズキ 落葉高木 ミズキ科 ミズキ属</p> <p>花期は5-6月。新枝の先に多数の白色4弁の小白色花を散房花序につける。果実は核果、球形で紫黒色をしている。和名は早春に芽をふく時、地中から多量の水を吸い上げることからつけられた。公園樹としてよく利用される。材としては白色で軟らかく緻密で、細工物、器具、下駄に利用される。</p>
<p>76</p> 	<p><b>樹種名:</b>ヤナギ 落葉高木 ヤナギ科 ヤナギ属</p> <p>柳といえば、街路樹、公園樹のシダレヤナギが代表的であるが、生け花では幹がくねったウンリュウヤナギや冬芽から顔を出す花穂が銀白色の毛で目立つネコヤナギがよく知られている。</p> <p>柳は枝や葉にサリチル酸を含むことから、解熱鎮痛薬としても用いられ後にアスピリンが作られることとなった。日本でも枝が歯痛止めや爪楊枝の材料として用いられた。また、葉には多量のビタミンCが含まれている。挿し木で容易に増えることから、治山などの土留工、伏工ではヤナギの木杭や止め釘を用い、緑化を進める基礎とすることがある。</p>
<p>101</p> 	<p><b>樹種名:</b>アジサイ 低木 アジサイ科 アジサイ属</p> <p>6月から7月にかけて開花し、白、青、紫または赤色の萼(がく)が大きく発達した装飾花をもつ。ガクアジサイではこれが花序の周辺部を縁取るように並び、園芸では「額咲き」と呼ばれる。ガクアジサイから変化した、花序が球形ですべて装飾花となったアジサイは「手まり咲き」と呼ばれる。アジサイは土壌のpH(酸性度)によって花の色が変わり、一般に「酸性ならば青、アルカリ性ならば赤」となると言われている。</p> <p>アジサイ品種の学名に「[otaksa]とあるが、シーボルトがアジサイを西洋に紹介する際、楠本タキ(おたきさん)を偲んで名前を付けたというゆわれがある。長崎銘菓「おたくさ」は、これに因んでアジサイの花を模したパイ菓子。</p>

※写真はガクアジサイ

公園内樹木(夏2)

<p>106</p>		<p>樹種名: スイレン 水生多年草 スイレン科 スイレン属</p> <p>水位が安定している池などに生息し、地下茎から長い茎を伸ばし、水面に葉や花を浮かべる。葉の表面に強い撥水性はない、多くの植物では気孔は葉の裏側にあるが、スイレンでは葉の表側に分布する。根茎から直接伸びる花柄の先端に直径5-10cmほどの花をつける。</p> <p>花期は6月～11月。</p>
<p>107</p>		<p>樹種名: ハス ハス科 ハス属</p> <p>地中の地下茎から茎を伸ばし水面に葉を出す。水面よりも高く出る葉もある(スイレンにはない)。葉は円形で葉柄が中央につき、撥水性があつて水玉ができる(ロータス効果)。花期は7～8月で白またはピンク色の花を咲かせる。早朝に咲き昼には閉じる。</p> <p>地下茎はレンコン(蓮根)として食用になる。はすの実と呼ばれる果実(種子)にもでん粉が豊富であり、生食される。種は緑色のドングリに似た形状で甘味と苦みがあり、生のトウモロコシに似た食感を持つ。</p> <p>また、蓮肉(れんにく)という生薬として、鎮静、滋養強壮作用がある。</p>
<p>108</p>		<p>樹種名: ツクシオオガヤツリ カヤツリグサ科 カヤツリグサ属</p> <p>熱帯・亜熱帯原産のツクシオオガヤツリは国内では数件しか知られていない希少種で、福岡城の濠(県指定天然記念物)が基準産地である。その後古賀市や小郡市でも群生地が発見されたが、いずれも市街地周辺にあり、美観を保つための管理や水質の悪化、水量の減少などで生存が危ぶまれている。ツクシオオガヤツリは県RDB・環境省RL絶滅危惧IB類に評価されている。</p>

※説明文はウィキペディア参考

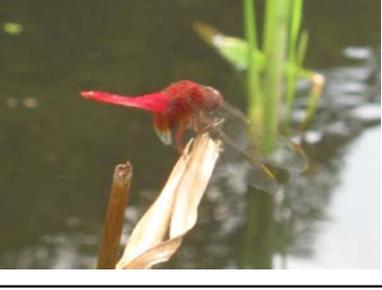
昆虫・生物(鳥・魚類など) 1

<p>109</p>		<p><b>名: ニイニイゼミ</b></p> <p>日本各地に分布する小型のゼミ。</p> <p>体長は20～24mm</p> <p>7月頃からニイニイゼミ、アブラゼミ、クマゼミ、エツゼミ、ヒグラシ、と続き、秋の始まりはツクツクボウシが鳴く。</p>
<p>110</p>		<p><b>名: クマゼミ</b></p> <p>日本特産種の大型ゼミである。</p> <p>体長は60～70mmで、都市部の街路樹等にも多く見られる。</p> <p>盛夏の頃に発生のピークを向える。</p>
<p>111</p>		<p><b>名: モンシロチョウ チョウ目(鱗翅目)アゲハチョウ上科シロチョウ科</b></p> <p>畑などの身近な環境でよく見られるチョウである。比較的採取しやすいため、アゲハチョウの仲間やカイコなどと並び、チョウ目(鱗翅目)昆虫の生態や生活環を学習する教材としてもよく活用される。</p> <p>前翅の長さは3cmほど。翅は白いが、前翅と後翅の前縁が灰黒色で、さらに前翅の中央には灰黒色の斑点が2つある。和名はこの斑点を紋に見立てたもの。また、春に発生する成虫は夏に発生する成虫よりも白っぽい。日本のモンシロチョウは奈良時代に大根の栽培と共に移入されたと考えられている。</p>
<p>112</p>		<p><b>名: モンキチョウ チョウ目(鱗翅目)アゲハチョウ上科シロチョウ科</b></p> <p>北海道から南西諸島までにわたり広く分布する。前翅外縁は黒く、翅の中央には銀色の斑紋がある。雄の翅の地色は黄色、雌では黄色と白色の2種類がある。翼開長は約50 mm。出現期は3-11月頃。</p> <p>幼虫で越冬し、早春に羽化する。日当たりのよい公園、明るい草地、農地、畑、河原などでよく見られる。</p> <p>幼虫の食草は、シロツメクサなどのマメ科の植物である。マメ科植物のある場所なら、あらゆる場所に広く分布している。</p>

昆虫・生物(鳥・魚類など) 2

<p>113</p>		<p><b>名: ヤマトシジミ チョウ目・シジミチョウ科</b></p> <p>日本には本州以南に分布する。前翅長は9-16mmと小さい。</p> <p>年5-6回、春から秋まで発生する。越冬態は蛹。オスの翅表の色は黒地で、中心に明るい水色を吹いたような色合いだが、メスは黒色のみ。翅裏は薄いグレー地で、黒い斑紋を乗せる。関東以西でもっとも普通に見られるチョウのひとつ。幼虫がカタバミを食草としているので、主に平地の道端や耕作地周辺に生息し、人家周辺でよく見られる。日当たりのよい場所にカタバミさえあればほとんどどこでも発生するが、成虫は移動力に劣るため、食草の少ない山地などではあまり見られない。</p>
<p>114</p>		<p><b>名: ベニシジミ チョウ目(鱗翅目)シジミチョウ科ベニシジミ属</b></p> <p>春に日当たりの良い草原でよく見られる小さな赤褐色のチョウである。成虫の前翅長は1.5 cmほど。前翅の表は黒褐色の縁取りがあり、赤橙色の地に黒い斑点がある。後翅の表は黒褐色だが、翅の縁に赤橙色の帯模様がある。翅の裏は表の黒褐色部分が灰色に置き換わっている。時に白化する場合もある。</p> <p>鹿児島県でレッドリストの「分布特性上重要」の指定を受けている。</p> <p>1997年(平成9年)11月28日発売の30円普通切手の意匠になった。</p>
<p>115</p>		<p><b>名: ツバメシジミ チョウ目シジミチョウ科</b></p> <p>名前の由来は後翅にある尾状突起にちなんでいる。</p> <p>前翅長は9-19mm。翅の表面はオスが青紫色、メスが黒色で、裏面は灰色がかった白色で、後翅には橙色の紋を持つ。</p> <p>平地の草原や公園などで見られる。幼虫で越冬し、年4-5回発生。</p> <p>成虫は3-10月にかけて観察できる。幼虫の草食はシロツメクサやカラスノエンドウなどのマメ科の植物である。</p>
<p>116</p>		<p><b>名: ルリシジミ チョウ目(鱗翅目)シジミチョウ科</b></p> <p>前翅長は12-19mm。翅の表面は、オスは明るい青藍色、メスは外縁部が広く黒褐色、裏面は白の地色に黒色の斑点がある。ユーラシアと北アフリカに分布し、日本国内では全国的に分布。蛹で越冬し、年3-4回、3-11月にかけて現れ、低地から山地の明るい草地などで見かけられる。夏型は春型に比べてやや小さく、メスの外縁部が著しく拡大する。成虫は地面で吸水したり、花で吸蜜することが多い。</p> <p>幼虫の食草はマメ科、バラ科、タデ科、ミカン科などの花。</p>

昆虫・生物(鳥・魚類など) 3

117		<p><b>名: ナミアゲハ</b></p> <p>人家の周辺でよく見られ、最もなじみのあるチョウのひとつで単にアゲハと呼ばれることもある。</p> <p>体長は40～60mm、春から夏にかけて発生する。</p> <p>産卵はミカン科植物の葉の上に行う。</p>
118		<p><b>名: オオシオカラトンボ</b></p> <p>湿地耐や田など日本全土に生育し、最も親しまれるトンボである。</p> <p>体長は50～60mm、オスは老齢すると体全体が黒色となり胸部から腹部にかけて灰白色の粉で覆われる。この粉を塩に見立てたのが、名前の由来となる。</p>
119		<p><b>名: ショウジョウトンボ</b></p> <p>大部がオスは真っ赤、メスは茶色である。</p> <p>4月下旬～11月上旬に現れる。</p> <p>体長は45mm～55mm</p> <p>開放的な池沼で生息する。</p>
120		<p><b>名: モノサシトンボ</b></p> <p>イトトンボとよく似るが、腹部に物差しが目盛のような黄白色の模様がある。</p>

昆虫・生物(鳥・魚類など) 4

121



名: チョウトンボ

ハネは青紫色で、つけ根から先端部にかけて黒く強い金属光沢をもつ。  
16～9月頃生息する。  
本州、四国、九州でみられ、植生豊かな池沼でみられる。

122



名: マメコガネ

小型のコガネムシ  
日本在来種で、アメリカに移入しているが農業に害を与える害虫とされている。

123



名: アオサギ

広く世界に分布する鳥類  
夏季はユーラシア大陸の中緯度、冬季はアフリカ大陸中部南アジアなどに南下する。日本では1年を通じて見られる。

124



名: カモ(マガモ)

マガモのメス  
オスは灰白色と黒褐色の胴体、緑色の頭と鮮やかな体色をしている。

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 夏（お堀の植物と生物）コース

(※距離：2.3km)



4号濠のスイレン



1号濠のハス



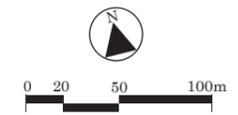
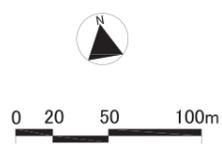
ナミアゲハ



クマゼミの羽化

- 説明ポイント
- 1) 1) について
  - 2) 2) ①～③ について
  - 3) 3) について

● : 巨木と珍木の位置を示す。



# 国指定史跡 福岡城跡

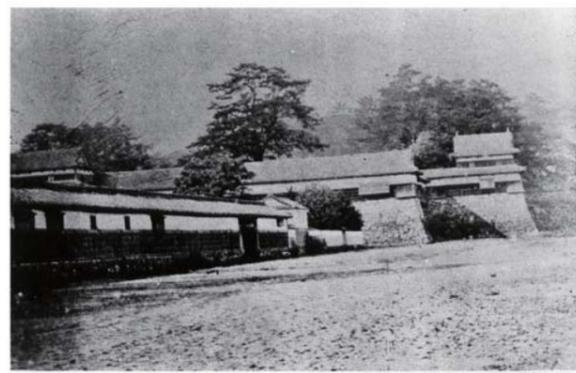
## (城の概要)

- ・ 築城年：慶長 12 年 (1607)
- ・ 築城者：黒田 長政
- ・ 面積 (指定面積)：480,424.90 m<sup>2</sup> (48.0ha)
- ・ 指定年月日：昭和 32 年 (1957) 8 月 29 日
- ・ 都市公園認定：昭和 23 年 (1948)
- ・ 石垣延長：3,350m (最も高い石垣は 15m 以上)
- ・ 堀：約 25 万坪 (現存約 1 万 3 千坪)
- ・ 櫓：47 以上
- ・ 門：10 以上
- ・ 出入口：3 箇所  
(上之橋御門、下之橋御門、追廻御門)

## (江戸時代初期の絵図)



「福博惣絵図」 福岡市博物館蔵



炭櫓、東御門、革櫓



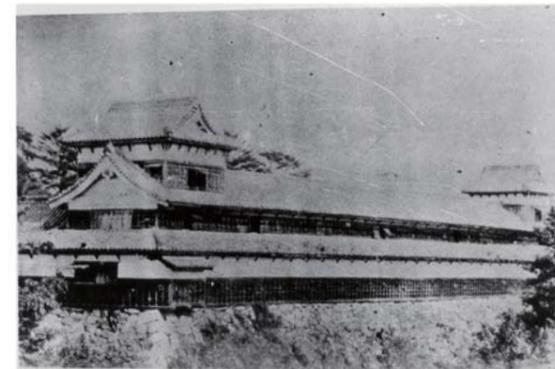
本丸表御門



本丸御殿



本丸裏御門



西三階櫓、武具櫓



多門櫓、鉄物櫓、追廻橋

(出典：国史跡福岡城跡 保存管理計画)

## 菖蒲園



## アジサイ



(出典：緑のまちづくり協会ホームページ)

秋（城と木の実）コース

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 1

### 秋：城と木の実

#### 1) 舞鶴公園について

① 舞鶴公園みどりガイドは、春夏秋冬の見どころを季節ごとに分け、案内します。この中で春については花の見どころも多く、季節的なズレもありますので、2通りのコースを用意しています。

第四回目は秋の城と木の実を巡るコースです。

② 秋のコースの説明に先立ち、舞鶴公園の歴史と将来計画について少し触れておきたいと思います。福岡城跡がどのような経緯で舞鶴公園となったのか、確たる文献等は見つかっていませんが、城跡の時代から博多湾より見た時、鶴の舞う姿に似ていたことから、別名舞鶴城とも呼ばれていたようです。明治から終戦までは陸軍の駐屯地でしたが、昭和 22 年市民運動場として市民に開放され、昭和 23 年には総合公園として都市計画決定されました。この時舞鶴公園となっております（面積約 40ha）。さらに同年には、第三回国民体育大会秋季大会の主会場として、テニスやバレーボールのコート、陸上競技場等のスポーツ施設（現在は球技場）が造られていました。平和台野球場は 2 年遅れで造られていました。その後、昭和 35 年に都市公園法による設置が認められました。

一方福岡城跡としては、国史跡指定が昭和 27 年に仮指定され、昭和 32 年 8 月 29 日に指定告示がありました。対象面積は約 48ha です。この他、南丸多聞櫓は昭和 46 年 12 月 28 日に国指定重要文化財に、また昭和 60 年代からは鴻臚館跡も本格

的に調査が始められ、平成 16 年 9 月 30 日付けで国指定史跡になっています。

このように都市公園法や文化財保護法等で保存された中で、各種の民間建物も逐次場外に移設され、跡地の公園整備が昭和 50 年代から進められ、平成 15 年前後からサクラの名所づくりも推進され、現在の姿になっています。

平成 3 年には、舞鶴公園将来構想がまとめられ、公園内の公共建物施設（平和台球場、病院等）の逐次移転が決まり、みどりと歴史・文化の拠点とする方向性が示されました。平成 25 年度には、大濠公園（県営公園）とも一体的な整備活用に向けたセントラルパーク構想も動き始めています。

- ③ 福岡城跡のことについても少し触れておきます。福岡城跡は今年の大河ドラマにも取り上げられている黒田官兵衛の長男黒田長政によって、慶長 6 年（1601）から慶長 12 年（1607）まで 7 年の月日をかけ造られています。官兵衛は御鷹屋敷、現在の牡丹・芍薬園に居住していたようですが、1604 年に没しているので城の竣工は見えていません。福岡藩は、九州内では薩摩・肥後藩に次ぐ 52 万石でしたが、福岡城跡は石垣の雄大さ、櫓の多さに特色がありました。

城内への出入り口は、北側の濠に面した上ノ橋大手門と下ノ橋大手門、南側の護国神社に面した追廻門の三カ所です。この他、三ノ丸から二ノ丸に向かう途中や（東御門、松ノ木門、桐木門）二ノ丸から本丸への入口に（本丸表御門、裏御門）天守台への入口に鉄御門等 10 ヶ所以上ありました。櫓は特に多く、重要文化財の南丸多聞櫓をはじめ、47 以上あったようです。

雄大な石垣の総延長は約 3.4 km で、最も高い石垣は 15m 程です。また、隣接する大濠公園を含めた堀面積も 25 万坪、（現

在は 4ha) 等が、規模や形状のあられました。

## 2) 植物と人との関わり

### ① 食べられる木の実

- ・ 木の実は縄文時代から人々の食糧として重用されていました。
- ・ 特に多いものがドングリ系で、イチイガシはアク抜きをせずに食べられます。
- ・ クリノキは縄文時代から人工的に栽培されていたことが花粉分析等から立証されています。
- ・ 舞鶴公園内で木の実をつける樹種は別表 3-1 のとおりです。
- ・ この中で人が食べられるものは、イヌマキ、キャラボクの果肉、スタジイ、タブノキ、アラカシ、マテバシイ、ウバメガシ、コナラのドングリ (アク抜きが必要)、イチョウのギンナン、カキなどです。

表 3-1 実のなる樹木一覧

		記号	樹種名	備考
実のなる樹木	人が食べられる木の实	①	イヌマキ	
		②	スダジイ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		③	タブノキ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		④	アラカシ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		⑤	マテバシイ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		⑥	ウバメガシ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		⑦	コナラ	ドングリ(アク抜きすれば食べられる)
		⑧	イチョウ	ギンナン
		⑨	カキ	
	食主になる鳥が木の实	⑩	クロガネモチ	鳥が食べる
		⑪	トベラ	鳥が食べる
		⑫	クロキ	鳥が食べる
		⑬	ナンキンハゼ	鳥が食べる
		⑭	センダン	鳥が食べる 人や犬は中毒を起こす
	途その木他の実用	⑮	ハゼノキ	実を絞りロウソクのロウに使われた
		⑯	ムクロジ	羽根つきの玉に使われた
		⑰	クちなシ	黄色の着色料(繊維・食品など)として使用 山梔子と呼ばれ、生薬の一つである
	その他実のなる木	⑱	フウ	
		⑲	コブシ	
		⑳	ハナミズキ	
		㉑	モチノキ	
		㉒	ムクノキ	
		㉓	エノキ	
		㉔	アオキ	

## ② 薬で使われた野草

野草の類では、つい最近まで腹痛、血止め、鎮痛剤、毒消しに使われていたものが多くあります。

このうちオオバコやタンポポ、ツワブキ、ヨモギ等は舞鶴公園でも見ることができます。

- ・ 下痢止め・整腸剤 … ゲンノショウコ、オオバコ
- ・ 解熱 … クコ、オナモミ、タンポポ
- ・ 解毒 … ツワブキ、ドクダミ
- ・ 止血 … ガマ、ヨモギ

このほか、クスノキから得られるショウノウは防虫剤として使われていました。

## ③ 建材・遊びなど生活に使われていた樹木

- ・ スギノキ … 古来より木材として重宝されました。曲物に使用したり、樽として使用し、日本酒に香りをつけていました。樹皮は檜皮葺の屋根に利用し、葉は線香に用いました。日本の材の中では最も用途が広いものです。
- ・ マ ツ … 古くから建築、土木、造船、家具など多用途に使われてきました。樹脂はマツヤニとして松明に利用されていました。(現在の懐中電灯)
- ・ ヒノキ … 日本では建材として最高品質のものとされています。加工が容易なうえに緻密で狂いがなく、日本人好みの強い芳香を長く発します。
- ・ ムクロジ … 実はサポニンを多く含み、石鹼代わりに使

われ、種は羽根つきの球に使われました。

- ・ カキノキ … 熟した実は食用とされ、幹は家具材として用いられた。葉は茶の代わりとして加工して飲まれ、柿渋は防腐剤として使われました。

### 3

#### 3) 舞鶴公園の紅黄葉

##### ①紅黄葉のきれいな樹木

- ・ 舞鶴公園内にはイチョウ、トウカエデ、イロハモミジ、サクラなど紅葉する樹木が多くあります。
- ・ 紅葉する樹種は以下の表 3-2 のとおりです。

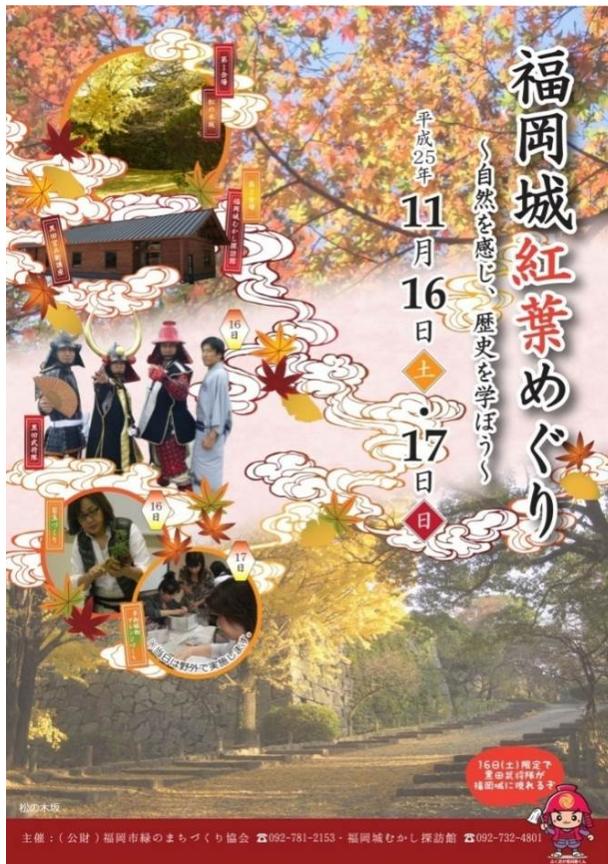
表 3-2 紅葉する樹木一覧

紅葉する樹木
イロハモミジ
ナンキンハゼ
イチョウ
ケヤキ
トウカエデ
タイワンフウ
ムクロジ
ハナミズキ
メタセコイア
サクラ類

- ・ 舞鶴公園内では松の木坂でモミジとイチョウ、福岡城むかし探訪館の周辺でイチョウとケヤキ、6号濠と菖蒲園の周囲でモミジが楽しめます。

## ②紅葉まつり(福岡城紅葉めぐり)

- ・ 舞鶴公園では「福岡城紅葉めぐり」～自然を感じ、歴史を学ぼう～と題したイベントが開催されます。
- ・ 松の木坂では、ほうじ茶カフェが開かれ、緑のコーディネーターによる苔玉作りや多肉植物のアレンジなどの講座が開催されます。
- ・ 福岡城むかし探訪館では「黒田官兵衛講座」が開設や、JAZZのライブ、「黒田武将隊」の演舞が行われ、期間中多くのイベントが開催されます。



# 福岡城紅葉めぐり～自然を感じ、歴史を学ぼう～

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
16日	<b>黒田官兵衛講座</b> 講師：NPO法人 福岡城・福岡城歴史・観光・市民の会 津田 慶一 氏 時間：10時～11時 場所：福岡城むかし探訪館	<b>苔玉を作ろう！</b> (苔や植物は変更になる場合があります) 講師：福岡市緑のコーディネーター 竹下 嗣子 氏 先着 20 名様 受講料：500 円 時間：11 時～14 時 場所：松の木坂					<b>「黒田武将隊」演舞(約 5 分)</b> <時間・場所> ① 11 時～ 福岡城むかし探訪館 ② 13 時～ 松の木坂 ③ 15 時～ 福岡城むかし探訪館
	<b>黒田官兵衛講座</b> 講師：NPO法人 福岡城・福岡城歴史・観光・市民の会 津田 慶一 氏 時間：10時～11時 場所：福岡城むかし探訪館	<b>多肉植物アレンジを作ろう！</b> (苔や植物は変更になる場合があります) 講師：福岡市緑のコーディネーター 西村 慶子 氏 先着 20 名様 受講料：500 円 時間：11 時～14 時 場所：松の木坂					<b>ふれあい掲示板</b> 日程：11月16日(土)・17日(日) 10時～16時 福岡城紅葉めぐり開催期間 限定の掲示板だよ！ 絵を描いたり俳句を詠んだり、自由作を 飾ろう！



**福岡城探検クイズラリー**  
 秋の福岡城址を散策しながらクイズを楽しもう！  
 (先着 50 名様にグリップグッズプレゼント！)  
 日程：11月16日(土)・17日(日) 10時～16時

**ほうじ茶のフタ**  
 お茶とお菓子で  
 ほっこりしよう！  
 場所：松の木坂

17日(日)には、JAZZ in 福岡城もあるよ！※時間▶1回目:13時～(40分) 2回目:14時～(40分)▶場所▶福岡城むかし探訪館

公園内樹木(秋1)

※説明文はウィキペディア及び日本の野生植物を参照としている。

樹木番号欄の色    : 人が食べられる実がなる木    : 鳥が食べる実がなる木  
   : その他の用途の実がなる木    : その他実がなる木

1		<p>樹種名: イヌマキ 常緑針葉樹 マキ科 マキ属</p> <p>常緑の高木で庭木や防風林として使われる。</p> <p>樹皮は白っぽい褐色で、細かく薄く縦長にはがれる。莖はまっすぐ伸び、枝先は上を向くが、大木になると枝先は下垂する。</p> <p>葉は細長い、扁平で主脈のはっきりしており、いわゆる針葉樹の葉には見えない形をしている。</p> <p>種子の基部の膨らみは花床と言われ、熟すと食べられるが種子は有毒である。</p>
2		<p>樹種名: スダジイ 常緑高木 ブナ科 シイ属</p> <p>照葉樹林を代表する樹種の一つ。</p> <p>耐潮性が強く、丈夫である。</p> <p>武具櫓南側土塁にまとまって良好な群落が見られる。</p>
3		<p>樹種名: タブノキ 常緑高木 クスノキ科 タブノキ属</p> <p>海岸近くに分布し、照葉樹林の代表的な樹種の一つ。</p> <p>神社の「鎮守の森」によく大木がある。</p>
4		<p>樹種名: アラクシ 常緑高木 ブナ科 コナラ属</p> <p>開花期は4・5月で、雌雄異花。果実(堅果)は、いわゆるどんぐりのひとつになる。</p> <p>人里近くの雑木林に多く見られる。照葉樹林の構成種であるが、人為的攪乱にも強く、人手が入った二次林に特に多い。</p> <p>大きな木になると、樹皮の傷口から虫が入り、これにカブトムシやクワガタムシが集まることもあり、クヌギほどではないが、そのような昆虫を見るのによい木である。</p>

公園内樹木(秋2)

樹木番号欄の色

：人が食べられる実がなる木

：鳥が食べる実がなる木

：その他の用途の実がなる木

：その他実がなる木

5	 	<p>樹種名：マテバシイ 常緑高木 ブナ科 マテバシイ属</p> <p>花は5～6月頃、黄褐色の雌雄花穂を結ぶ。</p> <p>実(ドングリ)はアク抜きが不要で炒って食用とできる。</p> <p>日本の固有種。薪炭材として利用される。</p>
6		<p>樹種名：ウバメガシ 常緑広葉樹 ブナ科 コナラ属</p> <p>備長炭の原料として利用される。</p> <p>堅果(どんぐり)は長さ2cm前後で楕円形、色は褐色。</p> <p>材は緻密で極めて硬い。比重が大きく、水に入ると沈む。</p>
7	 	<p>樹種名：コナラ 落葉高木 ブナ科 コナラ属</p> <p>花は4 - 5月、若葉が広がる時に咲き、秋に実(ドングリ)が熟す。</p> <p>材は木炭の原料や、シイタケの原木に使われる。</p>
8	 	<p>樹種名：イチヨウ 落葉高木 イチヨウ科イチヨウ属</p> <p>雌雄異株で、実は雌株にのみになる。イチヨウの種子は、銀杏(ぎんなん、ぎんきょう)と言い、殻を割って中の仁が調理される。</p> <p>ぎんなんは、かぶれなどの皮膚炎を引き起こす。食用した場合、1日5 - 6粒程度でも中毒になることがあり、特に報告数の70%程度が5歳未満の小児である。</p> <p>木材としては、水はけがよく均一で加工性に優れ、歪みが出にくい。構造材、造作材・水廻りに利用され基盤や将棋盤にも適材とされる。</p> <p>樹木自体は黄葉時の美しさや、剪定に強いという特性から、街路樹として利用される。福岡市では昭和通りなどに大木の並木があり、秋には沿道を黄色に染める。火災に強く、防火樹として利用される。</p> <p>舞鶴公園では三ノ丸の名島門南に巨木が1本ある。</p>

公園内樹木(秋3)

樹木番号欄の色       : 人が食べられる実がなる木       : 鳥が食べる実がなる木  
   : その他の用途の実がなる木       : その他実がなる木

9	 	<p>樹種名: カキノキ 落葉高木 カキノキ科 カキノキ属</p> <p>熟した果実は食用とされ、幹は家具材として用いられる。葉は茶の代わりとして加工され飲まれることがある。果実はタンニンを多く含み、柿渋は防腐剤として用いられる。</p> <p>柿渋は紙に塗ると耐水性を持たせることができ、和傘や団扇の紙に塗られた。柿渋の塗られた紙を渋紙と呼ぶ。また、塗料としても用いられた。石鹼の原料ともなる(柿渋石鹼)。</p>
10		<p>樹種名: クロガネモチ 常緑高木(広葉樹)モチノキ科モチノキ属</p> <p>秋に真赤で直径6mm程の実をつける。</p> <p>「金持ち」に通じ縁起木。野鳥が好む木。</p> <p>福岡市の木である。中央区渡辺通りなど街路樹に多く植えられ、都市の中にボリューム感のある緑を作り出している。</p>
11		<p>樹種名: トベラ 常緑低木 トベラ科 トベラ属</p> <p>海浜植物に続く植物。</p> <p>潮風や乾燥にも強い。枝葉は切ると悪臭を発生するため、節分にはイワシの頭などと魔除けとして戸口に掲げられ、扉の木と呼ばれた。</p>
12		<p>樹種名: クロキ 常緑小高木 ハイノキ科 ハイノキ属</p> <p>花期は3-4月ごろ。秋ごろに黒い果実が実り、鳥が食料としてついばむ様子を見ることもできる。</p>

13			<p>樹種名: ナンキンハゼ 落葉高木 トウダイグサ科ナンキンハゼ属</p> <p>ハゼノキの代わりに蠟をとる材料として使われるようになった、中国原産の木の意味である。</p> <p>花は5～6月開花する。よく紅葉することから、庭木、街路樹、公園樹の用途で使われている。根皮、果実は乾燥して、利尿剤、瀉下剤にする。これを烏臼(うきゆう)という。種子の油脂の烏臼油は、石鹼・蠟燭の原料や、薬用(腫物、皮膚病)とされる。</p>
14		<p>樹種名: センダン 落葉高木 センダン科センダン属</p> <p>5-6月頃に、若枝の葉腋に淡紫色の5弁の花を多数、円錐状につける。花にはアゲハチョウ類がよく訪れる。果実は10-12月頃に黄褐色に熟す。たまにヒヨドリなどが食べに訪れる。しかし人、犬が食べると中毒を起こし摂取量が多いと死に至る。</p> <p>樹皮は生薬の苦楝皮(くれんび)として、駆虫剤として内服され、果実は苦楝子(くれんし)として、しもやけなどに外用し、整腸、鎮痛薬として煎液を内服する。新芽・開花・実生・落葉と季節ごとの見かけの変化も大きく、森林内でも目立ちやすい。</p>	
15			<p>樹種名: ハゼノキ 落葉高木 ウルシ科 ウルシ属</p> <p>花は円錐花序で、5-6月頃に黄緑色の小さな花を咲かせる。雄花、雌花ともに花弁は5枚。雄花には5本の雄しべがある。雌しべは3つに分かれている。秋に直径5-15mmほどの扁平な球形の果実が熟す。果実の表面は光沢があり無毛。未熟果実は緑色であり、熟すと淡褐色になる。ウルシほど強くないが、かぶれることもあるので注意が必要。果実を蒸して圧搾して採取される木蠟は、和蠟燭、坐薬や軟膏の基剤、ポマード、石鹼、クレヨンなどの原料として利用される。</p>
16		<p>樹種名: ムクロジ 落葉高木 ムクロジ科</p> <p>ムクロジ科は双子葉植物に属する科で、約140属2000種からなる。高木から草本まであり、つる性のものもある。葉は互生し、羽状複葉のものが多い。亜熱帯、熱帯に多く分布する。日本にはムクロジ、モなどが野生する。ライチ(ライチー)、ランブータン、リュウガンなどの果樹クゲンジを含む。そのほか清涼飲料の原料となるガラナ、観賞用に栽培されるフウセンカズラがある。</p> <p>サポニンを含むものが多く、ムクロジ(英名: Soapberry)などは昔石鹼代わりに使われ、種子は羽根つきの球に使われた。</p>	

公園内樹木(秋5)

樹木番号欄の色    :人が食べられる実がなる木    :鳥が食べる実がなる木  
   :その他の用途の実がなる木    :その他実がなる木

<p>17</p>		<p>樹種名:クチナシ 低木 アカネ科 クチナシ属                      花期は6-7月で、葉腋から短い柄を出し、一個ずつ花を咲かせる。                      開花当初は白色だが、徐々に黄色に変わっていく。花には強い芳香がある。10-11月ごろに赤黄色の果実をつける。乾燥させた果実は古くから黄色の着色料として用いられた。これは繊維を染める他、食品にも用いられ、サツマイモや栗、和菓子、たくあんなどを黄色に染めるのに用いられる。また、果実は山梔子(さんし)と呼ばれ、日本薬局方にも収録された生薬の一つである。煎じて黄疸などに用いられる。黄連解毒湯、竜胆瀉肝湯、温清飲、五淋散などの漢方方剤に使われる。</p>
<p>18</p>		<p>樹種名:フウ(台湾フウ) 落葉高木 フウ科 フウ属                      葉は掌状に3裂し、縁に鋸歯。秋に紅葉する。雌雄同株。花は雌雄とも球形で花被がない。春、新葉が出るとともに咲く。果実は秋、褐色で棘のある球状の集合果が成熟する。□                      庭木、街路樹、公園樹として利用される。                      近縁種にモミジバフウが知られる。これに対して本種をサンカクバフウまたは台湾フウと呼ぶこともある。</p>
<p>19</p>		<p>樹種名:コブシ 落葉高木 モクレン科 モクレン属                      3月から5月にかけて、枝先に直径6-10cmの花を咲かせる。花は純白で、基部は桃色を帯びる。花弁は6枚。枝は太いが折れやすい。                      枝を折ると、芳香が湧出する。                      果実は集合果であり、にぎりこぶし状のデコボコがある。この果実の形状がコブシの名前の由来である。</p>
<p>20</p>		<p>樹種名:ハナミズキ 落葉高木 ミズキ科 ミズキ属                      別名アメリカヤマボウシ。これはアメリカ原産で日本の近縁種のヤマボウシに似ていることから、日本に最初に入ってきたのは明治時代で、桜をアメリカに送ったお礼として持ち込まれた。                      花期は4月下旬から5月上旬で白や薄いピンクの花をつける。大きく花びらのように見えるものは総苞(がく)で、中心にある小さなツブツブの一つ一つが花。秋につける果実は複合果で赤い。                      庭木のほか街路樹として利用される。</p>

公園内樹木(秋6)

樹木番号欄の色     :人が食べられる実がなる木     :鳥が食べる実がなる木  
 :その他の用途の実がなる木     :その他実がなる木

21		<p>樹種名:モチノキ 常緑高木 モチノキ科モチノキ属                  開花期は春、花弁はうすい黄色。晩秋に赤い果実をつける。                  公園、庭などに植栽される。</p>
22		<p>樹種名:ムクノキ 落葉高木 ニレ科 ムクノキ属                  成長が比較的早く、大木になるため、日本では巨木が国や地方自治体の天然記念物に指定されている例がある。                  花期は4-5月頃。花には雄花と雌花がある。                  花の後に直径7-12mmの球形で緑色の果実(核果)をつける。熟すと黒紫色になり食べられる。味は非常に甘く、美味である。                  ムクドリなどがよく果実を食べに集まり、種子の散布にも関与している。</p>
23		<p>樹種名:エノキ 落葉高木 ニレ科エノキ属                  花には雄花と雌花がある。葉と同時期(4月頃)に、葉の根元に小さな花を咲かせる。花の後ろに、直径5-6mmの球形の果実をつける。                  熟すと橙褐色になり、食べられる。味は甘い。                  建築用材、家具材、道具材、薪炭などに使われる。木材の質はやや堅いが、強度はそれほど強くない。また、狂いが生じやすい。辺材と心材の境が明瞭でない。風合いが似ていることから、ケヤキの代用とされる。</p>
24		<p>樹種名:アオキ 低木 ミズキ科 アオキ属                  花は3-5月に咲く。果実は秋頃から赤く(種類によっては白、黄色)熟し、美しい。楕円形で大きさは2cmほど、11月-翌年5月頃まで付いている。葉は苦味健胃作用があり、民間薬の陀羅尼助(だらにすけ)に配合されている。</p>

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 秋（紅黄葉と木の実）コース

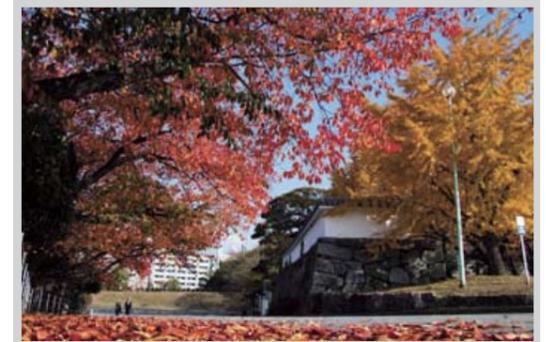
(※距離：1.6km)



松木坂



御下屋敷跡（舞鶴中学校付近）



上ノ橋御門



東御門



# 国指定史跡 福岡城跡

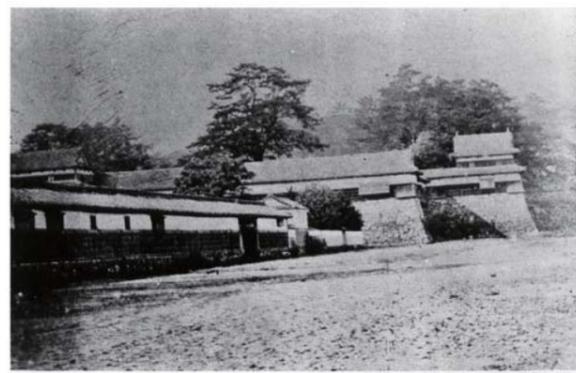
## (城の概要)

- ・ 築城年：慶長 12 年 (1607)
- ・ 築城者：黒田 長政
- ・ 面積 (指定面積)：480,424.90 m<sup>2</sup> (48.0ha)
- ・ 指定年月日：昭和 32 年 (1957) 8 月 29 日
- ・ 都市公園認定：昭和 23 年 (1948)
- ・ 石垣延長：3,350m (最も高い石垣は 15m 以上)
- ・ 堀：約 25 万坪 (現存約 1 万 3 千坪)
- ・ 櫓：47 以上
- ・ 門：10 以上
- ・ 出入口：3 箇所  
(上之橋御門、下之橋御門、追廻御門)

## (江戸時代初期の絵図)



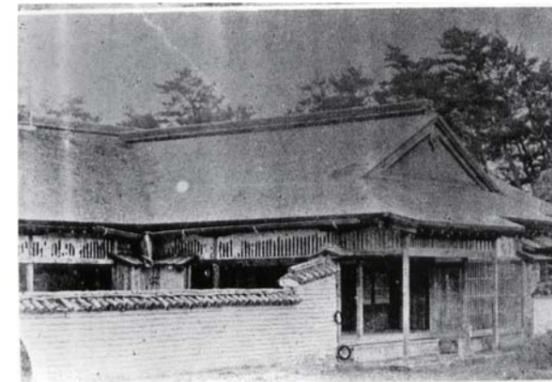
「福博惣絵図」 福岡市博物館蔵



炭櫓、東御門、革櫓



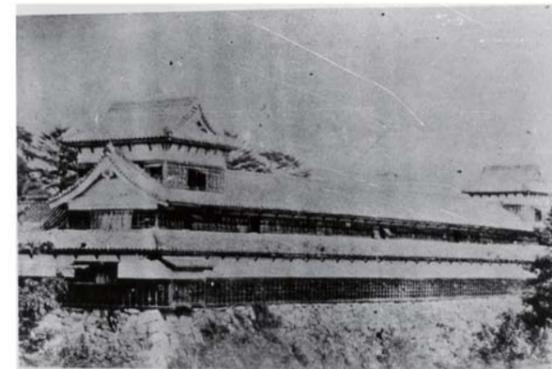
本丸表御門



本丸御殿



本丸裏御門



西三階櫓、武具櫓



多門櫓、鉄物櫓、追廻橋

(出典：国史跡福岡城跡 保存管理計画)

## 秋に実のなる樹木



マテバシイ



カキノキ



ギンナン

(出典：緑のまちづくり協会ホームページ)

冬（城と樹木）コース

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 1

### 冬：城と樹木

#### 1) 舞鶴公園について

- ① 舞鶴公園みどりガイドは、春夏秋冬の見どころを季節ごとに分け、案内します。この中で春については花の見どころも多く、季節的なズレもありますので、2通りのコースを用意しています。

第五回目は、城と樹木を巡る冬のコースです。

- ② 冬の舞鶴公園ガイドツアーに先立ち、舞鶴公園の歴史と将来計画について少し触れておきたいと思います。福岡城跡がどのような経緯で舞鶴公園となったのか、確たる文献等は見つかりませんが、城跡の時代から博多湾より見た時、鶴の舞う姿に似ていたことから、別名舞鶴城とも呼ばれていたようです。明治から終戦までは陸軍の駐屯地でしたが、昭和 22 年市民運動場として市民に開放され、昭和 23 年には総合公園として都市計画決定されました。この時舞鶴公園となっております（面積約 40ha）。さらに同年には、第三回国民体育大会秋季大会の主会場として、テニスやバレーボールのコート、陸上競技場等のスポーツ施設（現在は球技場）が造られていました。平和台野球場は 2 年遅れで造られていました。その後、昭和 35 年に都市公園法による設置が認められました。

一方福岡城跡としては、国史跡指定が昭和 27 年に仮指定され、昭和 32 年 8 月 29 日に指定告示がありました。対象面積は約 48ha です。この他、南丸多聞櫓は昭和 46 年 12 月 28 日に国指定重要文化財に、また昭和 60 年代からは鴻臚館跡も本格的に調査が始められ、平成 16 年 9 月 30 日付けで国指定史跡に

なっています。

このように都市公園法や文化財保護法等で保存された中で、各種の民間建物も逐次場外に移設され、跡地の公園整備が昭和50年代から進められ、平成15年前後からサクラの名所づくりも推進され、現在の姿になっています。

平成3年には、舞鶴公園将来構想がまとめられ、公園内の公共建物施設（平和台球場、病院等）の逐次移転が決まり、みどりと歴史・文化の拠点とする方向性が示されました。平成25年度には、大濠公園（県営公園）とも一体的な整備活用に向けたセントラルパーク構想も動き始めています。

- ③ 福岡城跡のことについても少し触れておきます。福岡城跡は今年の大河ドラマにも取り上げられている黒田官兵衛の長男黒田長政によって、慶長6年（1601）から慶長12年（1607）まで7年の月日をかけ造られています。官兵衛は御鷹屋敷、現在の牡丹・芍薬園に居住していたようですが、1604年に没しているため城の竣工は見えていません。福岡藩は、九州内では薩摩・肥後藩に次ぐ52万石でしたが、福岡城跡は石垣の雄大さ、櫓の多さに特色がありました。

城内への出入り口は、北側の濠に面した上ノ橋大手門と下ノ橋大手門、南側の護国神社に面した追廻門の三カ所です。この他、三ノ丸から二ノ丸に向かう途中や（東御門、松ノ木門、桐木門）二ノ丸から本丸への入口に（本丸表御門、裏御門）天守台への入口に鉄御門等10ヶ所以上ありました。櫓は特に多く、重要文化財の南丸多聞櫓をはじめ、47以上あったようです。

雄大な石垣の総延長は約3.4kmで、最も高い石垣は15m程です。また、隣接する大濠公園を含めた堀面積も25万坪、（現在は4ha）等が、規模や形状のあらましです。

## 2)福岡公園内の樹木の変遷

### ② 公園内の樹木の変遷

- ・ 築城当初から江戸時代末までの城跡内の樹木の変遷を絵図からみると、多くの絵図には土塁上に樹木が描かれています。樹種はマツと思われます。
- ・ 明治に入って撮影された写真の中にも、門や櫓の背景にマツの大木が見られます。この他土塁では雑木が繁茂する様子が窺えます。
- ・ 明治の中後半ごろから土塁上には雑木が繁茂していたようです。
- ・ 昭和に入り国体会場として整備されたころから、ヒマラヤシダ、メタセコイア等の外来種が植栽されたと思われます。
- ・ 昭和 23 年に都市公園法により開園され、同 35 年に設置されました。この後公園整備が進められたと思われます。
- ・ その後、舞鶴公園内の大学や専門学校舎が昭和 45～51 年に移転し、跡を菖蒲園、牡丹芍薬園として整備しました。
- ・ 平成に入り「舞鶴城址将来構想中間とりまとめ」が策定され、舞鶴公園内の公共建物施設（平和台球場、国立福岡病院、自衛隊連絡所など）が移転し、公園整備が進められています。



①福岡惣絵図〈正保3年(1646)〉  
※部分拡大



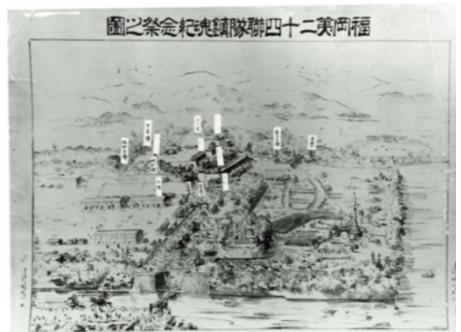
②筑前国福岡城図〈承応3年(1653)〉  
※部分拡大



③御城内絵図〈文禄12年(1699)〉



④福岡御城下絵図  
〈寛政年間(1789~1801)〉 ※部分拡大



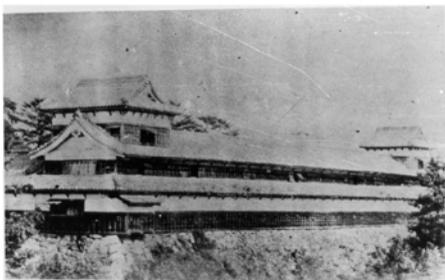
⑤福岡第24聯隊鎮魂記念祭之図  
〈明治18年(1885)〉

※ ①～⑤絵図は『国史跡福岡城 保存管理計画』  
2012年福岡市教育委員会 より抜粋

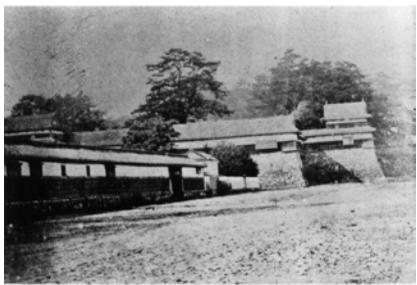
( 古写真 : 明治初年ころ撮影 )



A. 本丸御殿



B. 武具櫓



C. 革櫓・炭櫓・平櫓・二ノ丸表御門



D. 上之橋御門



E. 松の木坂御門・大組櫓・向櫓



F. 追廻橋・鉄櫓・多聞櫓



G. 本丸表御門



H. 本丸裏御門・太鼓櫓

※ 古写真は『国史跡福岡城 保存管理計画』  
2012年福岡市教育委員会 より抜粋

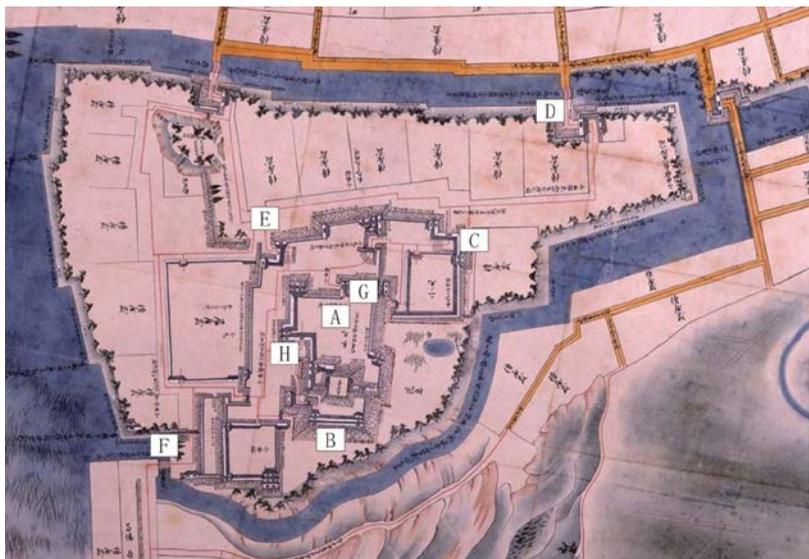


図 4-1 古写真位置図

2

## ② 舞鶴公園内の樹木の現況

舞鶴公園内の樹木の現況は表 4-1 のとおりです。

表 4-1 植物の現況

種別	調査状況
樹木の概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城跡内の中高木の総本数は約4,000本である。</li> <li>・城跡内の中高木の樹種数は106種で、主な樹種は、常緑樹はクスノキ・ツバキ・クロガネモチ、落葉樹はサクラ・ウメ・ムクノキ・エノキ、針葉樹はマツ・カイヅカイブキで、その他イチヨウがある。</li> <li>・城跡内の低木の総面積は約 9,500 m<sup>2</sup>で、その内の9割が常緑樹である。樹種数は40種で、ツツジ類が多く、次いでサンゴジュ・アベリア・シャリンバイ・トベラが多い。</li> </ul>
草花	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花木・草本類で、春夏秋冬の花が楽しめる配慮となっている。</li> <li>・特にサクラ（約1,000本）・ウメ（約300本）は市内の名所となっている。</li> <li>・フジ・ボタン・シャクヤク園も規模は大きい。</li> <li>・平和台陸上競技場や二ノ丸内に洋風花壇も整備されている。</li> </ul>
土塁周りの樹木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土塁上の中高木の総本数は、約1,000本で公園全体の約1/4弱である。低木はほとんど見られず総面積は約250m<sup>2</sup>である。</li> <li>・北側土塁上の樹木は、落葉樹（サクラなど）とマツである。</li> <li>・南西面の土塁上の樹木は、常緑樹（クスノキ・カシ・シイ）の大径木が多い。</li> </ul>
石垣周りの樹木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣内に自生した高木が、二ノ丸・本丸内の一部に見られる。</li> <li>・同上内の石垣の裾部分に低木が植栽されたところが多い。</li> </ul>
外来樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に本丸・二ノ丸に多数植えられている。</li> <li>・昭和30～40年代に植栽されたもので、当時公園樹として多用されていた樹種である。（キョウチクトウ・サンゴジュ・イチヨウ・メタセコイア他）</li> </ul>
堀の植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツクシオオガヤツリ（福岡県指定天然記念物）が数カ所で群生する。</li> <li>・夏季を中心に一面にハスが群生し、冬季には水藻が多量発生する。</li> </ul>

### ③ 歴史のある樹木と高木

- ・ 環境省は、調査上での巨樹・巨木の定義をしていて、地上から約 1.3m の位置の幹回りが 3.0m 以上の木を「巨樹・巨木」と定めています。
- ・ 1988 年度～1992 年度にかけて実施された、環境省所管の緑の国勢調査とも呼ばれる自然環境保全基礎調査の第 4 回において、「巨樹・巨木林調査」の項目が増え、全国調査が行われ初めて全国の巨樹の実態が明らかにされました。
- ・ 現在でも調査漏れが多数あると推定され、一般に対しても調査協力を求めており、愛好家らによって新たな巨樹が報告されています。
- ・ 舞鶴公園内の土塁上には幹周り 4.0m 以上のクスノキが 5 本あり、樹齢が 200～300 年と推定されます。
- ・ 牡丹芍薬園の南側の藤棚の所には幹周り 3.6m のイチョウの木があり、これは樹齢 150 年ほどと思われます。
- ・ 裁判所の南側土塁には幹周り 2.5m 以上のイヌマキが 4 本あり、藩政時代のものと思われます。
- ・ 記念櫓の東側全面のメタセコイア（高さ 13.0～14.0m）は、昭和 30 年以降の公園整備で植栽されたものと推定できます。
- ・ メタセコイアのほかに舞鶴公園内で見られるキョウチクトウ、サンゴジュ、イチョウは外来樹ですが、これらは昭和 30 年から公園樹として多用されました。

#### 公園内の歴史のある木

##### (幹周りの大きなもの) ランキング

	C(幹周り)	H(高さ)
1.ムクノキ	5.1m	15.0m
2.クスノキ	4.8m	20.0m
3.クスノキ	4.5m	18.0m

#### 公園内の高木ランキング

	H(高さ)	C(幹周り)
1.イチョウ	25.0m	3.0m
2.クスノキ	25.0m	2.4m
3.クスノキ	22.0m	1.8m

表 4-2 樹径の大きな木 (その 1)

		
<p>三ノ丸マキノキ</p>	<p>南丸付近クスノキ</p>	<p>御館東クスノキ</p>
		
<p>御館躰園のクスノキ</p>	<p>西側広場ムクノキ</p>	<p>西隅櫓下クスノキ</p>
		
<p>西三階櫓前メタセコイヤ</p>	<p>西三階櫓前</p>	<p>天目櫓下</p>

		
<p>御鷹屋敷ムクノキ</p>	<p>御鷹屋敷センダン</p>	<p>天守台クスノキ</p>
		
<p>土塁上クロガネモチ</p>	<p>フジ棚イチョウ</p>	<p>陸上競技場イチョウ</p>
		
<p>陸上競技場クスノキ</p>	<p>東御門エノキ</p>	

表4-3 公園内の樹木(歴史性のあるもの)

※説明文はウィキペディア及び日本の野生植物を参照としている。

	<p>樹種名:イヌマキ 常緑針葉樹 マキ科 マキ属</p> <p>常緑の高木で庭木や防風林として使われる。</p> <p>樹皮は白っぽい褐色で、細かく薄く縦長にはがれる。茎はまっすぐに伸び、枝先は上を向くが、大木になると枝先は下垂する。</p> <p>葉は細長いが、扁平で主脈がはっきりしており、いわゆる針葉樹の葉には見えない形をしている。</p> <p>種子の基部の膨らみは花床と言われ、熟すと食べられるが種子は有毒である。</p>
	<p>樹種名:クロマツ 常緑針葉樹 マツ属</p> <p>砂浜海岸には防潮林として昔から植えられた。</p> <p>福岡城跡の絵図や明治～昭和頃の城内の写真では、マツが目立っている。</p> <p>マツ材は樹脂を多く含み腐りにくいため、古くから建築、土木、造船、家具など多用途に利用されてきた。樹脂は松脂(まつや)として松明(たいまつ)等に利用されていた。マツ科の植物は、人間の生活に深いかわりを持った植物である。</p> <p>近年では松枯れ、松くい虫病と呼ばれるマツ萎凋病(マツ材線虫病)が大流行し、各地の歴史的景観が危機に瀕している。</p>
	<p>樹種名:クスノキ 常緑高木 クスノキ科 ニッケイ属</p> <p>5～6月に白く淡い黄緑色の小さな花。</p> <p>枝葉を蒸留すると無色透明の樟脳が得られ、防虫剤や医薬品として使用される。</p> <p>カンフル注射のカンフルは樟脳を指す。</p> <p>多聞櫓南側土塁上に高さ20m、葉張り20m、幹周り4.6mと最大のものがある。</p>
	<p>樹種名:クログナモチ 常緑高木(広葉樹)モチノキ科モチノキ属</p> <p>秋に真赤で直径6mm程の実をつける。</p> <p>「金持ち」に通じ縁起木。野鳥が好む木。</p> <p>福岡市の木である。中央区渡辺通りなど街路樹に多く植えられ、都市の中にボリューム感のある緑を作り出している。</p>

		<p><b>樹種名: ヤブツバキ 常緑高木(広葉樹) ツバキ科 ツバキ属</b></p> <p>照葉樹林を代表する樹木で、冬から春に美しい花をつける。</p> <p>「花椿」は春の季語で、「寒椿」は冬の季語。</p> <p>種子を搾った椿油は、高級食用油、整髪油として使われる。</p> <p>灯りなどの燃料油にも使われた。</p> <p>ツバキと言う名前は、葉が厚い「厚葉木」、または葉につやがある「艶葉木」に由来していると言われています。</p> <p>油山は椿が自生し、この実を搾って灯火に使ったことから「油山」と呼ばれるという説もある。</p>
		<p><b>樹種名: イチョウ 落葉高木 イチョウ科イチョウ属</b></p> <p>雌雄異株で、実は雌株にのみなる。イチョウの種子は、銀杏(ぎんなん、ぎんきょう)と言い、殻を割って中の仁が調理される。</p> <p>ぎんなんは、かぶれなどの皮膚炎を引き起こす。食用した場合、1日5-6粒程度でも中毒になることがあり、特に報告数の70%程度が5歳未満の小児である。</p> <p>木材としては、水はけがよく、均一で加工性に優れ、歪みが出にくい。構造材、造作材・水廻りに利用され、碁盤や将棋盤にも適材とされる。</p> <p>樹木自体は黄葉時の美しさと、剪定に強いという特性から、街路樹として利用される。福岡市では昭和通りなどに大木の並木があり、秋には沿道を黄色に染める。火災に強く、防火樹として利用される。</p> <p>舞鶴公園では三ノ丸の名島門南に巨木が1本ある。</p>

表4-4 公園内の樹木(珍しい木)

 	<p><b>樹種名:</b>クスドイゲ 常緑小高木 イギリ科 クスドイゲ属</p> <p>花は9月。幹に鋭いトゲをもつ。</p> <p>クスドはハリネズミの古語「クサフ」に由来し、イゲは(異毛)。</p> <p>人手の入った二次林に多く、照葉樹林の構成種である。</p>
	<p><b>樹種名:</b>ムクロジ 落葉高木 ムクロジ科</p> <p>ムクロジ科は双子葉植物に属する科で、約140属2000種からなる。</p> <p>高木から草本まであり、つる性のももある。葉は互生し、羽状複葉のものが多い。亜熱帯、熱帯に多く分布する。日本にはムクロジ、モクゲンジなどが野生する。ライシ(ライチー)、ランブータン、リュウガンなどの果樹を含む。そのほか清涼飲料の原料となるガラナ、観賞用に栽培されるフウセンカズラがある。</p> <p>サポニンを含むものが多く、ムクロジ(英名:Soapberry)などは昔石鹸代わりに使われ、種子は羽根つきの球に使われた。</p>
	<p><b>樹種名:</b>バクチノキ 常緑高木 バラ科 サクラ属</p> <p>樹皮は灰白色、古くなった樹皮は鱗状に剥がれ落ちる。</p> <p>名前の由来もこれを博打に負け衣を剥がれることにたとえたもの。</p>
	<p><b>樹種名:</b>タロヨウ 常緑高木(広葉樹) モチノキ科 モチノキ属</p> <p>葉は肉厚で20cm程の長楕円形で、縁が鋸のように細かいギザギザ。</p> <p>花は4~5月。4mm程の淡黄緑色。葉の裏面傷つけると字が書けることから、郵便局の木として定められている。</p>



樹種名: パリバリノキ 常緑高木 クスノキ科 ハマビロ属

8月に花を咲かせ、果実は冬を越してから黒く熟す。

葉の質は堅く、和名の由来は「硬質の葉がふれあう時の音に基づくのであろう」とされる。



樹種名: チシャノキ 落葉高木 ムラサキ科 チシャノキ属

和名は、若葉の味がチシャ(レタス)に似ていることから、また、樹皮や葉がカキノキに似ていることから、カキノキダマシともいう。

6月から7月にかけて枝の先端に円錐花序をつける。花は白色で花冠は直径5mmほどで、5裂するものに6裂するものが混ざる。



樹種名: コスノキ(イスノキ) 落葉高木 マンサク科 イスノキ属

4月頃、葉腋に小花を総状花序につける。花序の基部には雄花、先の方には両生花がつく。花弁はなく、萼も小さいが雌しべの葯が赤っぽく色づくのが美しい。

葉にしばしば虫こぶがつく。イスオオムネアブラムシの寄生によっては丸く大きく膨らんだ虫こぶ(ひよんの実)が形成される。この虫こぶがタンニンを含むので染料の材料として使われる。乾燥させると非常に堅く丈夫になるので、家具・木刀・杖などの材料に、灰(柞灰(いすばい))は陶磁器の釉の融剤とする。

表4-5 公園内の樹木(外来樹)

		<p><b>樹種名:</b>ヒマラヤスギ 常緑針葉樹 マツ科 ヒマラヤスギ属</p> <p>ヒマラヤ山脈西部の標高1500mから3200mの地域が原産地である。</p> <p>高さは40m-50m、時には60mにまで成長し、幹の直径は3mに達する。</p> <p>樹冠は円錐形で、地面に水平な枝と垂れ下がった小枝がある。</p> <p>ヒマラヤスギは建築材料として大きな需要がある。耐久性、難腐敗性に優れ、良質で緻密な木目は磨けば美しいつやが出る。</p> <p>木には芳香があり、香料として用いられる。セダー油は芳香族性があり、特にアロマテラピーで利用される。</p>
	 	<p><b>樹種名:</b>サンゴジュ 常緑高木 スイカズラ科 ガマズミ属</p> <p>初夏に円錐花序を出して小型の花を多数開花し、果実が秋に赤く熟して美しい。それをサンゴに例えて名付けられた。</p> <p>厚く水分の多い葉や枝が火災の延焼防止に役立つともいわれ、防火樹として庭木や生垣によく用いられる。</p>
	 	<p><b>樹種名:</b>キョウチクトウ 常緑小高木 キョウチクトウ科キョウチクトウ属</p> <p>花は、およそ6月より残暑の頃である9月まで開花する。</p> <p>キョウチクトウは優れた園芸植物ではあるが、経口毒性があり、野外活動の際に調理に用いたり、箸や食器などに利用しないよう、また口家畜が食べたりしないよう注意が必要である。花、葉、枝、根、果実すべての部分と、周辺の土壌にも毒性がある。生木を燃した煙も毒。腐葉土にしても1年間は毒性が残るため、腐葉土にする際にも注意を要する。</p>
	 	<p><b>樹種名:</b>トウカエデ 落葉高木 カエデ科 カエデ属</p> <p>トウカエデは中国原産のカエデであり、漢字では唐楓。紅葉が美しいので公園や街路樹などに植栽されている。樹皮は縦に割れて剥がれるのが特徴のひとつ。葉は秋に黄色から朱色に紅葉して美しい。</p> <p>花は4月から5月にかけて、房状にたくさん付き、両性花である。</p> <p>1721年、中国から長崎に輸入された。</p>



**樹種名:フウ(タイワンフウ) 落葉高木 フウ科 フウ属**

葉は掌状に3裂し、縁に鋸歯。秋に紅葉する。雌雄同株。花は雌雄とも球形で花被がない。春、新葉が出るとともに咲く。果実は秋、褐色で棘のある球状の集合果が成熟する。□

庭木、街路樹、公園樹として利用される。

近縁種にモミジバフウが知られる。これに対して本種をサンカクバフウまたはタイワンフウと呼ぶこともある。



**樹種名:ニセアカシア 落葉高木 マメ科 ハリエンジュ属**

5-6月頃、強い芳香のある白い蝶形の花を10-15cmほどの房状に大量に咲かせる。花の後に平たい5cmほどの鞘に包まれた4-5個の豆ができる。花から上質な蜂蜜が採れ、有用な蜜源植物である。

和名はハリエンジュ(針槐)。

材は年輪が不明瞭で、かなり重く、硬く結りがあり加工しにくい。耐久性が高いためかつては線路の枕木、木釘、木炭、船材、スキー板など□に使われた。



**樹種名:メタセコイア 針葉樹 スギ科 メタセコイア属**

和名はアケボノスギ、イチイヒノキ。

花期は2-3月。雄花は総状花序、あるいは円錐花序となって枝から垂れ下がる。結実も多く、秋から冬にかけて無数の種が地表に落ちる。

葉はモミヤネズに似て線のように細長く、長さは3 cm程度、幅は1-2 mm程度。秋に赤茶色に紅葉した後、落葉する。



**樹種名:ソテツ 低木 ソテツ科 ソテツ属**

九州・沖縄地方の南国ムードを強調する為の演出として映像素材に用いられることが多い。また、記念樹としてよく公園、官公庁や学校などにも植えられる。ロータリーの真ん中などでは特によく植栽される。

鉄を受けると元気になる(蘇鉄)という伝承があり、茎にクギを打ち込まれていることがよくある。

日本の局方には記載されていないが、中国では漢方薬として、葉・種子・茎・花・根が薬用になると考えられている。

## 3)冬に見られる動植物

## ①花と野鳥

- ・ 城内二ノ丸跡の梅園は福岡博多ライオンズクラブの創立十周年と福岡博多中ライオンズクラブの創立を記念して寄贈されました。
- ・ 梅園には白、ピンク、赤とたくさんのウメが植えられており、総数は約 280 本、花の見頃は1月下旬から3月上旬です。
- ・ 城内ではヒヨドリ、ムクドリ、モズが見られ、梅の頃にはメジロも見られます。
- ・ お濠ではホシハジロが見られ、カワセミ、アオサギ、ユリカモメなども見られます。



ユリカモメ



コバン



ヒドリガモ



カワセミ



チュウサギ



アオサギ



ウソ



トビ



ササゴイ

・梅 園

公園内樹木(冬1)

52



樹種名:ウメ 落葉高木 バラ科 サクラ属

福岡県の花に指定されている。

西暦700年以前に日本に渡り、広く栽培された。

後に学問の神として崇められる菅原道真が大宰府に左遷の憂き目にあった時、詠んだ句がある。

東風(こち)吹かばにほひおこせよ 梅の花

主(あるじ)なしとて 春を忘るな

梅の木は主を慕って一夜にして京都から大宰府まで飛んでき口たというのが大宰府天満宮に伝わる飛梅伝説である。全国の天満宮のシンボルが梅であるのも、種の中の仁を天神様と呼ぶのも、大宰府天満宮の名物が梅ヶ枝餅であるのも、この伝説に由来する。

花を觀賞するほか、果実を梅干し、梅酒、梅酢、梅醬やジャムなどにして食用とする。強い酸味が特徴であり、クエン酸をはじめとする有機酸などを多く含むので健康食品としても販売されている。

漢方薬では燻蒸(くんじょう)して真っ黒になった実を烏梅(うばい)といい、健胃、整腸、駆虫、止血、強心作用がある。

青い果実の種子には毒性があるが、大量の種子をかみ砕いた場合を除いて誤摂取による中毒の危険は限られる。

また、梅酒の青い実や梅干しの種の中身などは、アルコールや塩分、熱により毒性は低下している。

舞鶴公園では二ノ丸に梅園がある。1月から2月頃にかけて、350本の梅の木が春の訪れを知らせてくれる。

公園内樹木(冬2)

10		<p>樹種名: サザンカ 常緑広葉樹 ツバキ科 ツバキ属</p> <p>秋の終わりから、冬にかけての寒い時期に、花を咲かせる。</p> <p>野生の個体の花の色は部分的に淡い桃色を交えた白であるのに対し、植栽される園芸品種の花の色は赤や、白や、ピンクなど様々である。</p> <p>サザンカ、ツバキ、チャノキなどのツバキ科の葉を食べるチャドクガが知られている。この毒蛾の卵かい、幼虫、繭、成虫には毒針毛があり、触れると皮膚炎を発生させる。また木の下を通ったりするだけでも毒針毛に触れ、被害にあうことがある。</p>
15	 	<p>樹種名: ヤブツバキ 常緑高木(広葉樹) ツバキ科 ツバキ属</p> <p>照葉樹林を代表する樹木で、冬から春に美しい花をつける。</p> <p>「花椿」は春の季語で、「寒椿」は冬の季語。</p> <p>種子を搾った椿油は、高級食用油、整髪油として使われる。</p> <p>灯りなどの燃料油にも使われた。</p> <p>ツバキと言う名前は、葉が厚い「厚葉木」、または葉につやがある「艶葉木」に由来していると言われています。</p> <p>油山は椿が自生し、この実を搾って灯火に使ったことから「油山」と呼ばれるという説もある。</p>
83		<p>樹種名: カンツバキ 低木 ツバキ科 ツバキ属</p> <p>花は11～2月。一般的には淡い紅色の八重咲きが多いが、白や桃色のものもある。花には仄かな香りがある。</p> <p>福岡市では街路樹の植樹帯など公共緑化の寄せ植えによく利用されている。ツバキ、サザンカと同様にチャドクガの被害が多い。</p>

# 舞鶴公園みどりのガイドツアー

## 冬（城と樹木）コース

(※距離：1.9km)



梅園



サザンカ

街並みと水辺景観がきれいなポイント

地下鉄赤坂駅  
至天神

最近の名所づくりにより  
整備が進む

舞鶴公園内でも樹齢を重ねた樹木が立ち並び通り

説明ポイント

- 1) 1)、2)①について
- 2) 2)②について
- 3) 2)③について
- 4) 3)①について

●：巨木と珍木の位置を示す。



国指定史跡 福岡城跡

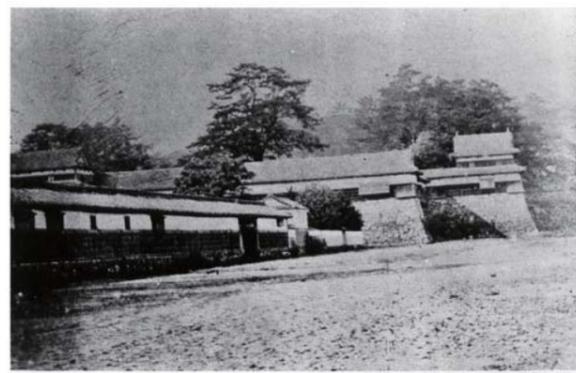
(城の概要)

- ・ 築城年：慶長 12 年 (1607)
- ・ 築城者：黒田 長政
- ・ 面積 (指定面積)：480,424.90 m<sup>2</sup> (48.0ha)
- ・ 指定年月日：昭和 32 年 (1957) 8 月 29 日
- ・ 都市公園認定：昭和 23 年 (1948)
- ・ 石垣延長：3,350m (最も高い石垣は 15m 以上)
- ・ 堀：約 25 万坪 (現存約 1 万 3 千坪)
- ・ 櫓：47 以上
- ・ 門：10 以上
- ・ 出入口：3 箇所  
(上之橋御門、下之橋御門、追廻御門)

(江戸時代初期の絵図)



「福博惣絵図」 福岡市博物館蔵



炭櫓、東御門、革櫓



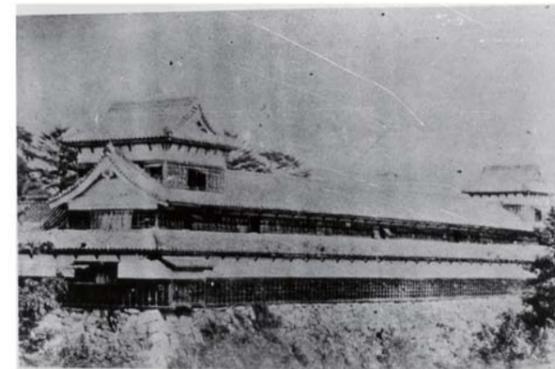
本丸表御門



本丸御殿



本丸裏御門



西三階櫓、武具櫓



多門櫓、鉄物櫓、追廻橋

(出典：国史跡福岡城跡 保存管理計画)

お堀の野鳥



お堀とカモ



アオサギ



チュウサギ



ヒドリガモ



ユリカモメ